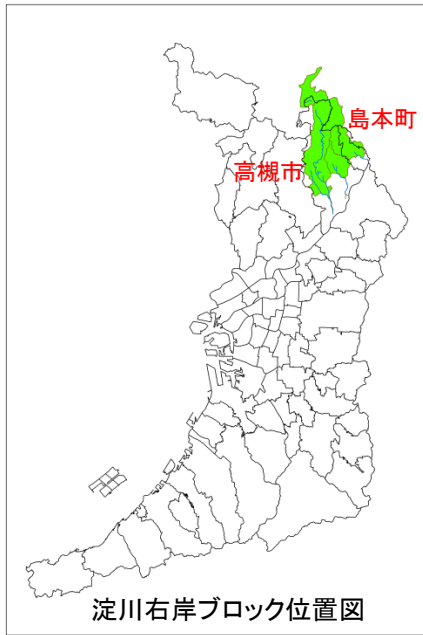

淀川水系 淀川右岸ブロック 流域の概要について

1. 淀川右岸ブロックの現状
2. 淀川右岸ブロックの特性
3. 治水事業の概要
4. 既往の治水計画の概要

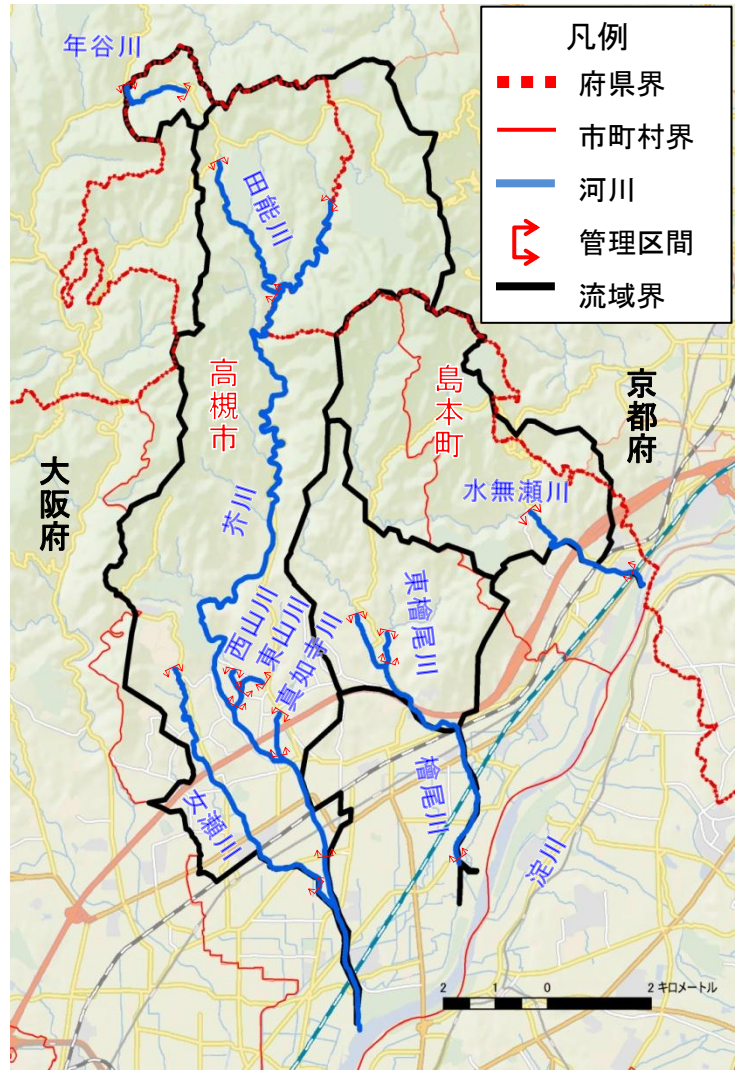
1. 淀川右岸ブロックの現状

淀川右岸ブロックは、芥川、檜尾川、水無瀬川流域及び年谷川からなり、北摂山系に源を発し、主に淀川の右岸に注ぎ込む河川で構成される。

流域は、高槻市、島本町、及び京都府京都市、長岡京市、大山崎町の3市2町にまたがる。

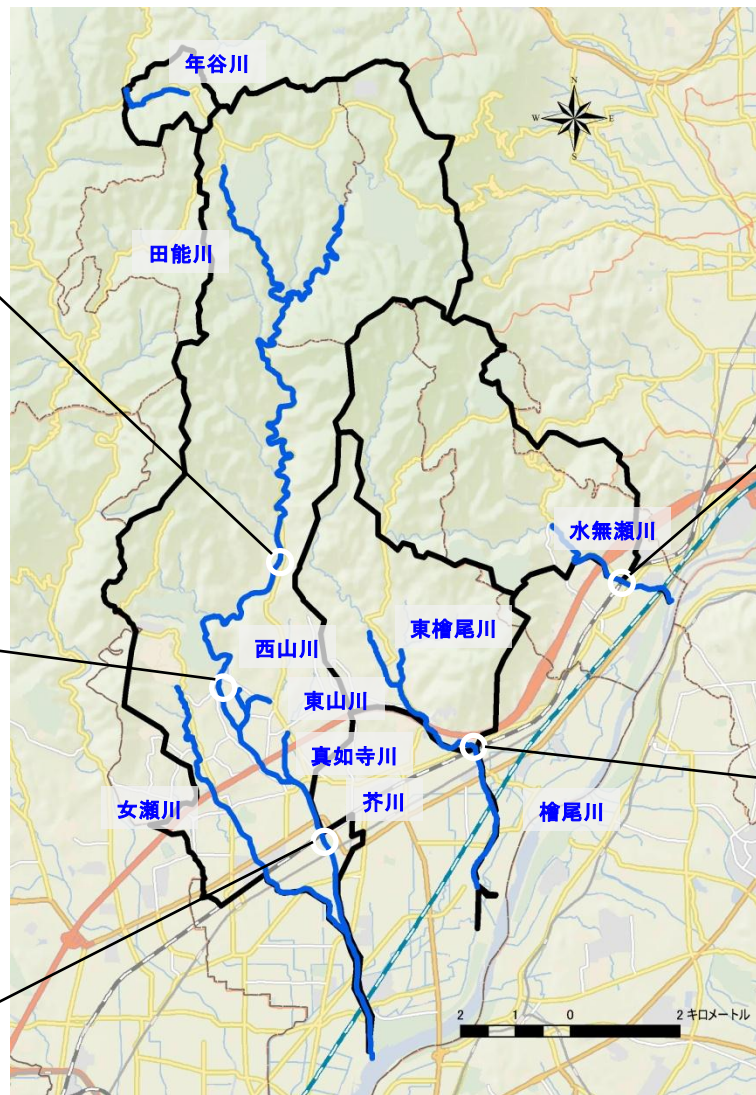


河川名	流域面積 (km ²)	指定区間延長 (km)
芥川	47.5	19.3
女瀬川	4.4	6.0
真如寺川	1.2	1.0
西山川	2.2	0.9
東山川	1.2	0.7
田能川	5.2	3.7
檜尾川	11.7	6.2
東檜尾川	3.8	0.8
水無瀬川	17.2	4.0
年谷川	3.2	1.4



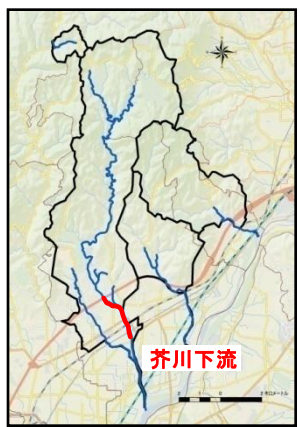
1. 淀川右岸ブロックの現状

淀川右岸ブロックの流域面積は79.6km²で、芥川水系(芥川、女瀬川、真如寺川、西山川、東山川、田能川)、檜尾川水系(檜尾川、東檜尾川)、水無瀬川水系、年谷川の10河川から構成されている。



1. 淀川右岸ブロックの現状(芥川)

- 芥川下流区間(淀川合流点～名神高速)
 - ・川幅は約50mで、女瀬川合流点より下流では約80mに広がり、河床勾配は、1/200～1/600程度である。
 - ・河道周辺は市街地となっており、両岸に護岸が整備された直線的な河道である。
 - ・沿川には、桜堤公園、防災ステーションなどが整備されている。



1. 淀川右岸ブロックの現状(芥川)

●芥川中流区間(名神高速～摂津峡)

- ・川幅は約50mで、河床勾配は1/80～1/200程度である。
- ・河道内は瀬と淵が形成され、河道周辺は農地及び市街地となっている。
- ・河川沿川には、芥川緑地(あくあびあ芥川)が整備されている。

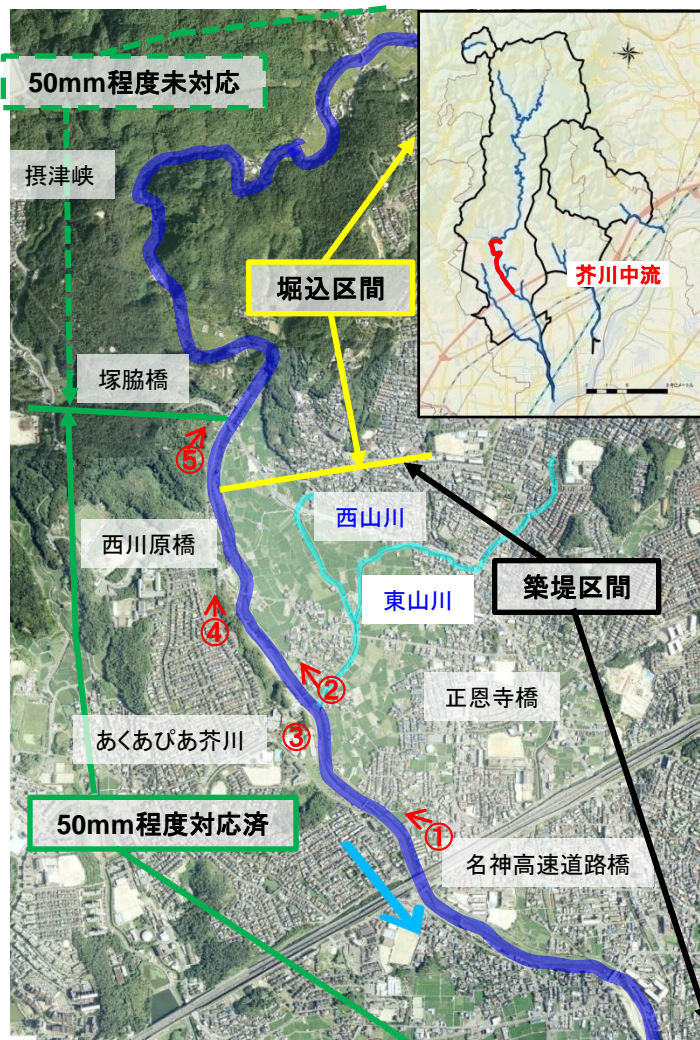
①名神道路橋付近より上流を見る



②正恩寺橋付近より上流を見る



③あくあびあ芥川



④西川原橋付近より上流を見る



⑤塚脇橋付近より上流を見る



1. 淀川右岸ブロックの現状(芥川)

●芥川上流区間(摂津峡より上流)

- ・川幅は約15mで、一部原大橋付近は約25mとなる。
- ・河床勾配は1/30～1/80程度である。
- ・山地が川岸に迫り、瀬と淵が形成され、変化に富む流れとなっている。

①摂津峡大橋付近より下流を見る



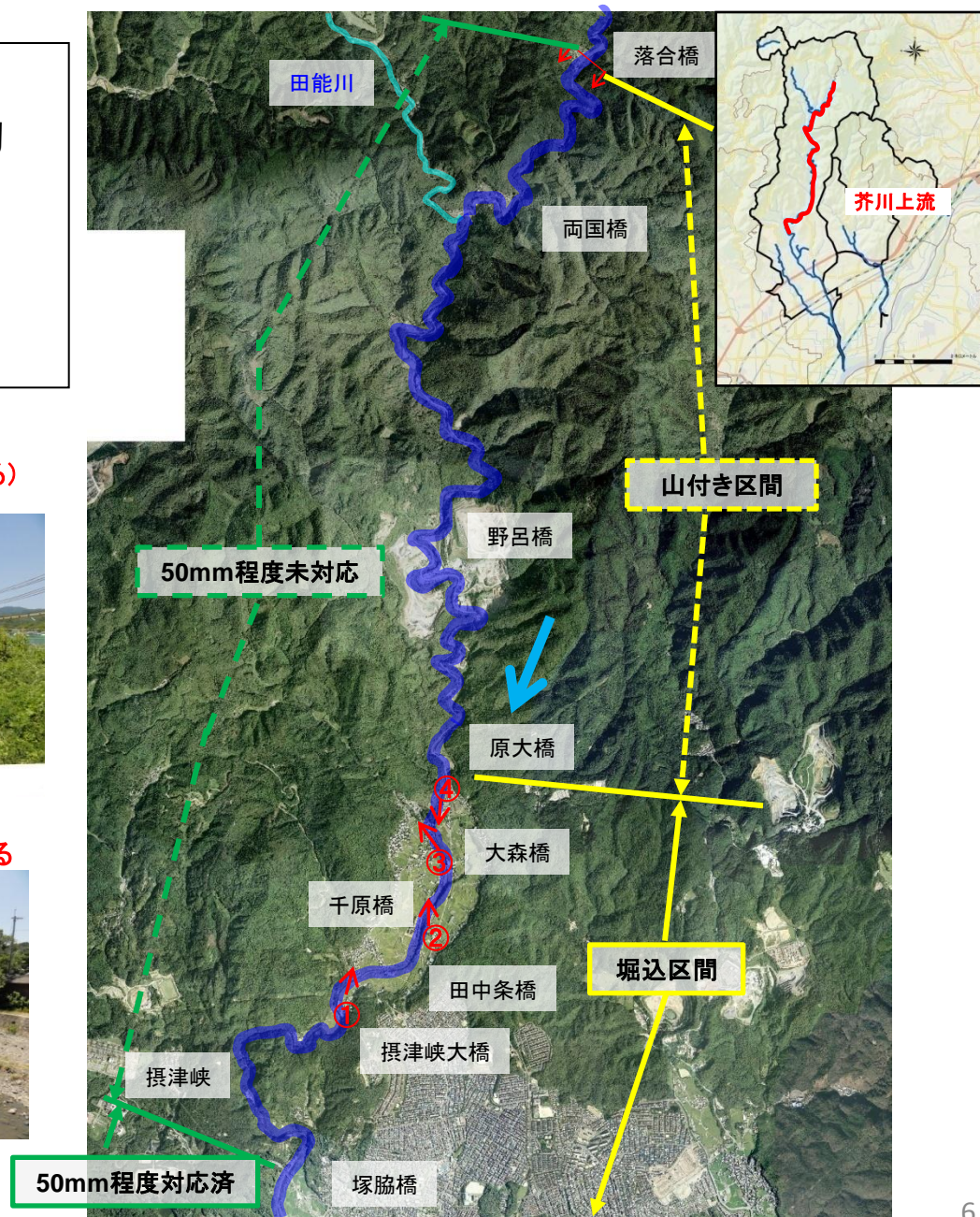
③大森橋～千原橋(上流を見る)



②大森橋～千原橋(上流を見る)

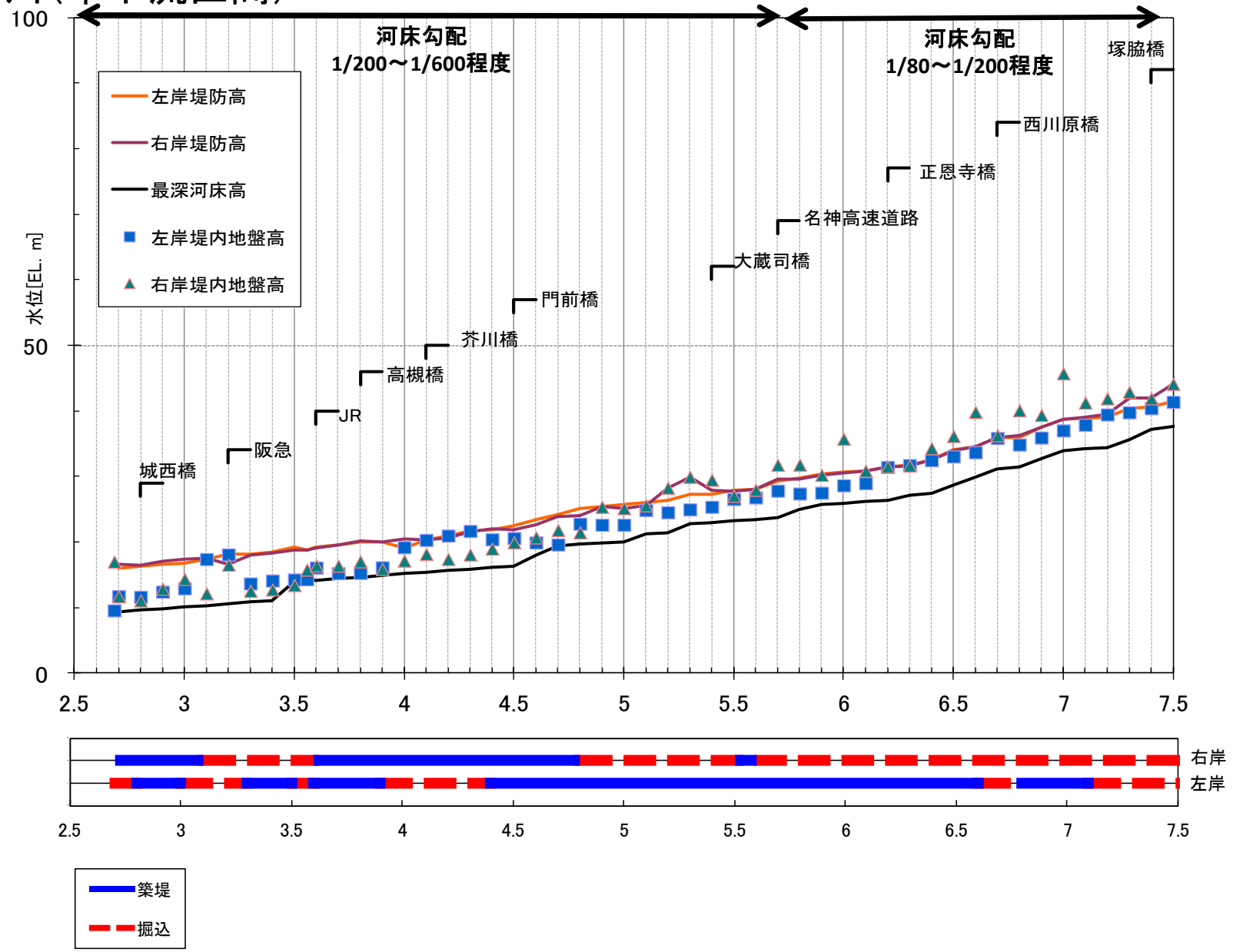


④原大橋付近より下流を見る



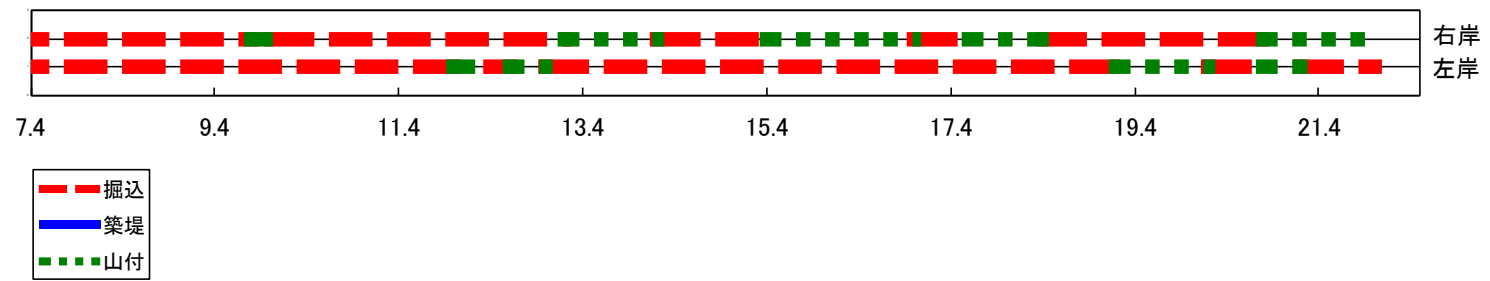
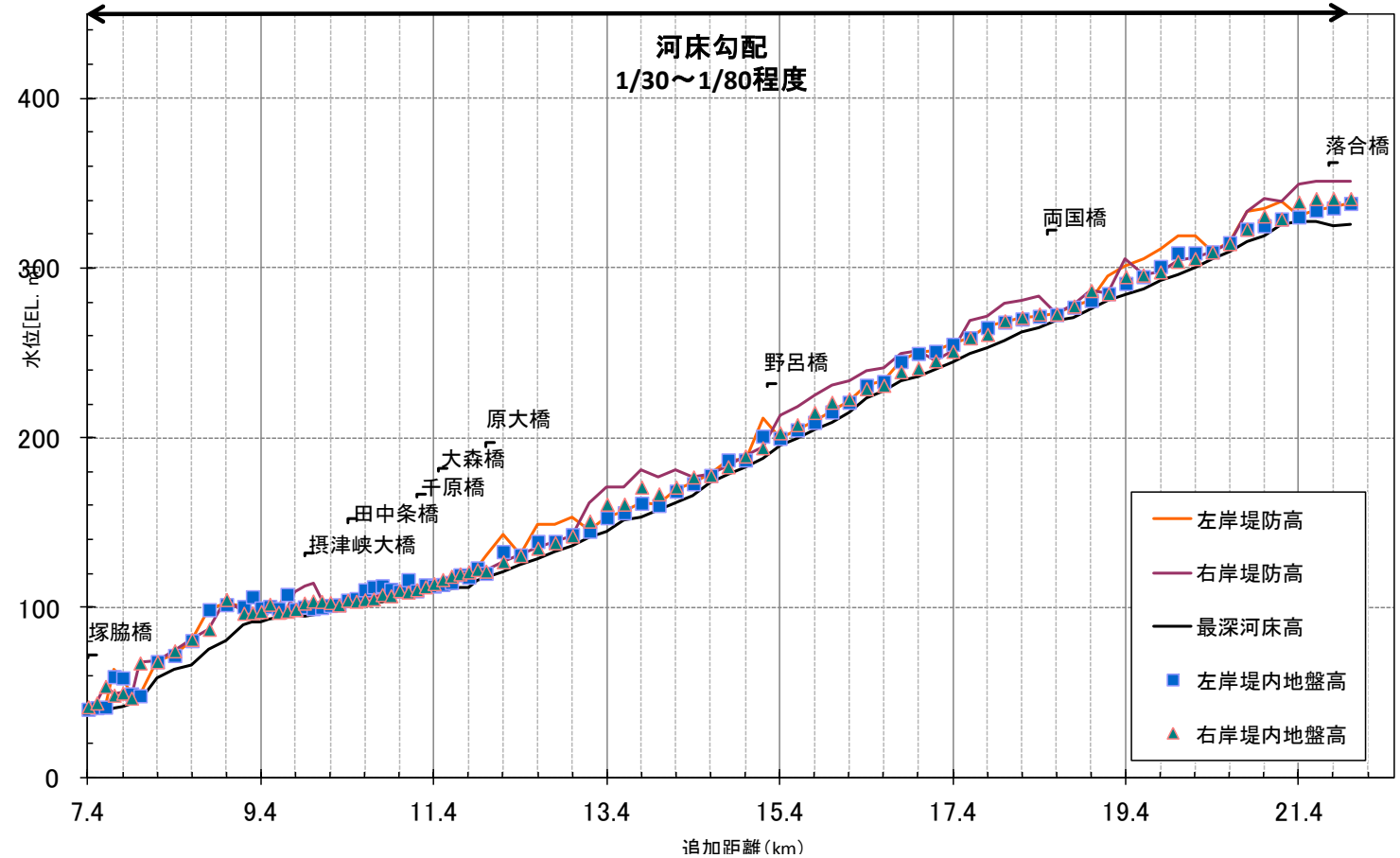
1. 淀川右岸ブロックの現状(芥川縦断形状)

芥川(中下流区間)



1. 淀川右岸ブロックの現状(芥川縦断形状)

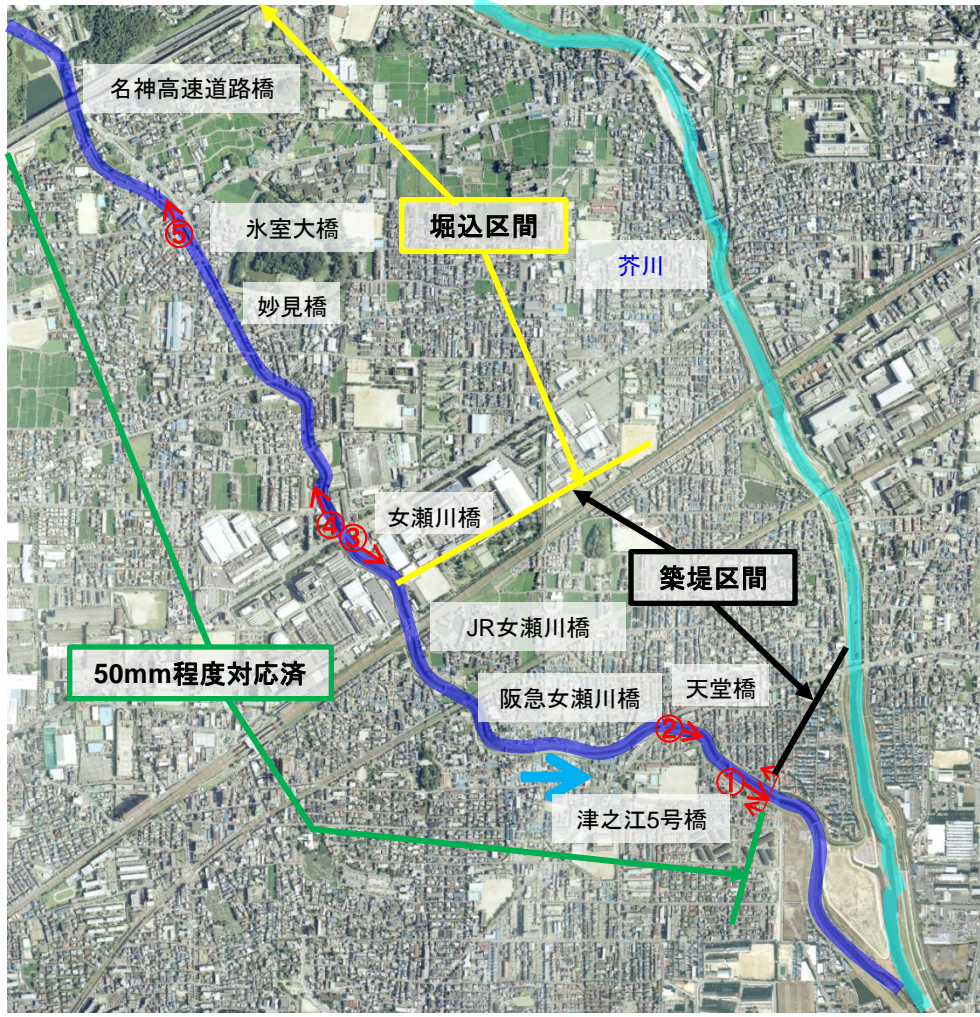
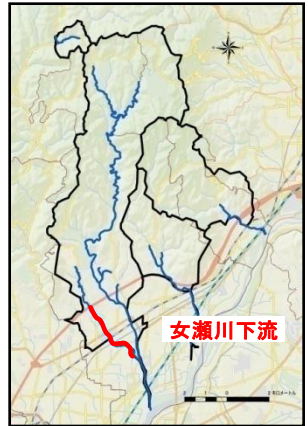
●芥川(上流区間)



1. 淀川右岸ブロックの現状(女瀬川)

●女瀬川中下流区間(芥川合流点～名神高速道路)

- ・川幅は約20mで、河床勾配は1/100～1/400程度である。
- ・河道周辺は市街地となっており、両岸に護岸が整備されている。



①津之江5号橋より下流を見る



②天童橋より下流を見る



③女瀬川橋より下流を見る



④女瀬川橋より上流を見る



⑤水室大橋より上流を見る



1. 淀川右岸ブロックの現状(女瀬川)

●女瀬川上流区間(名神高速道路より上流)

- ・川幅は約10mで、河床勾配は1/50程度である。
- ・河道周辺は、下流の市街地から、上流域の山地及び農地へと広がりを見せる。

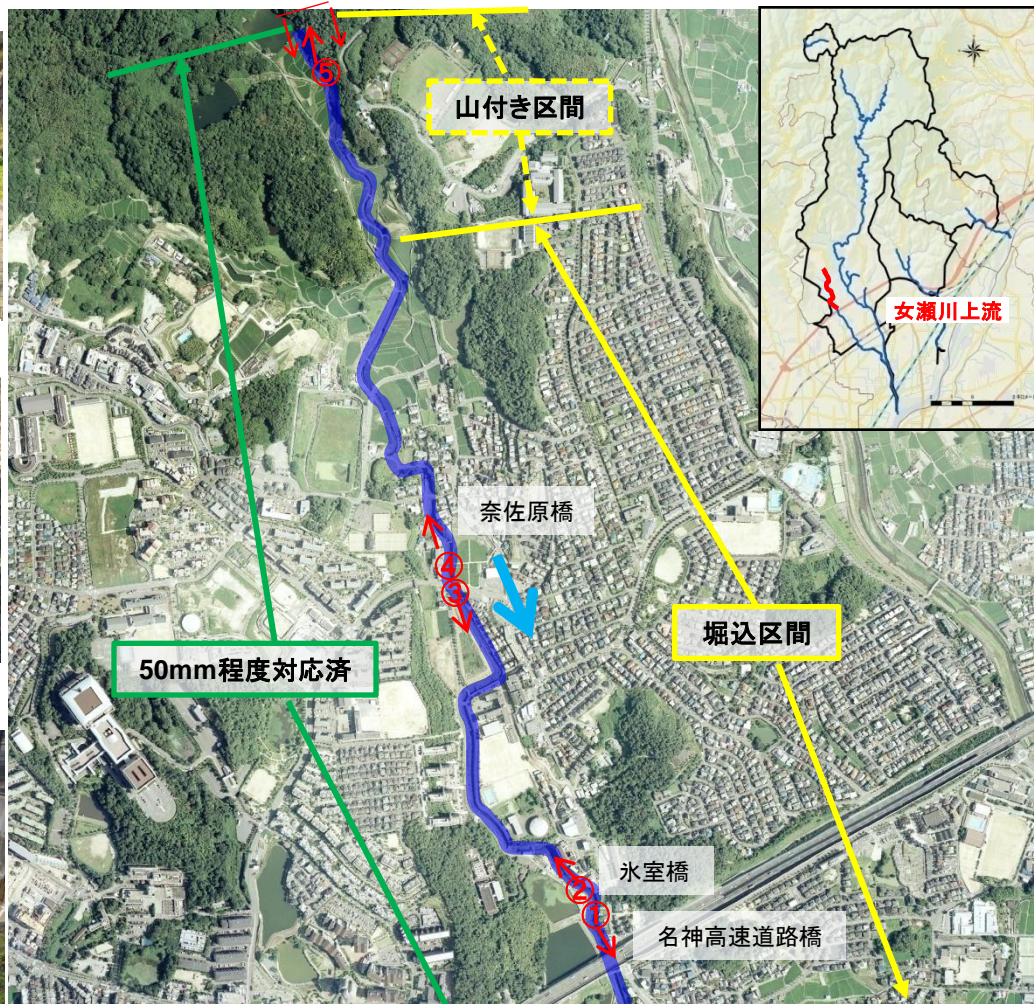
①氷室橋より下流を見る



②氷室橋より上流を見る



③奈佐原橋より下流を見る



④奈佐原橋より上流を見る

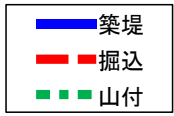
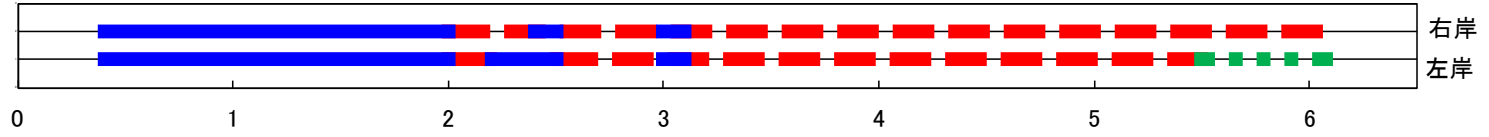
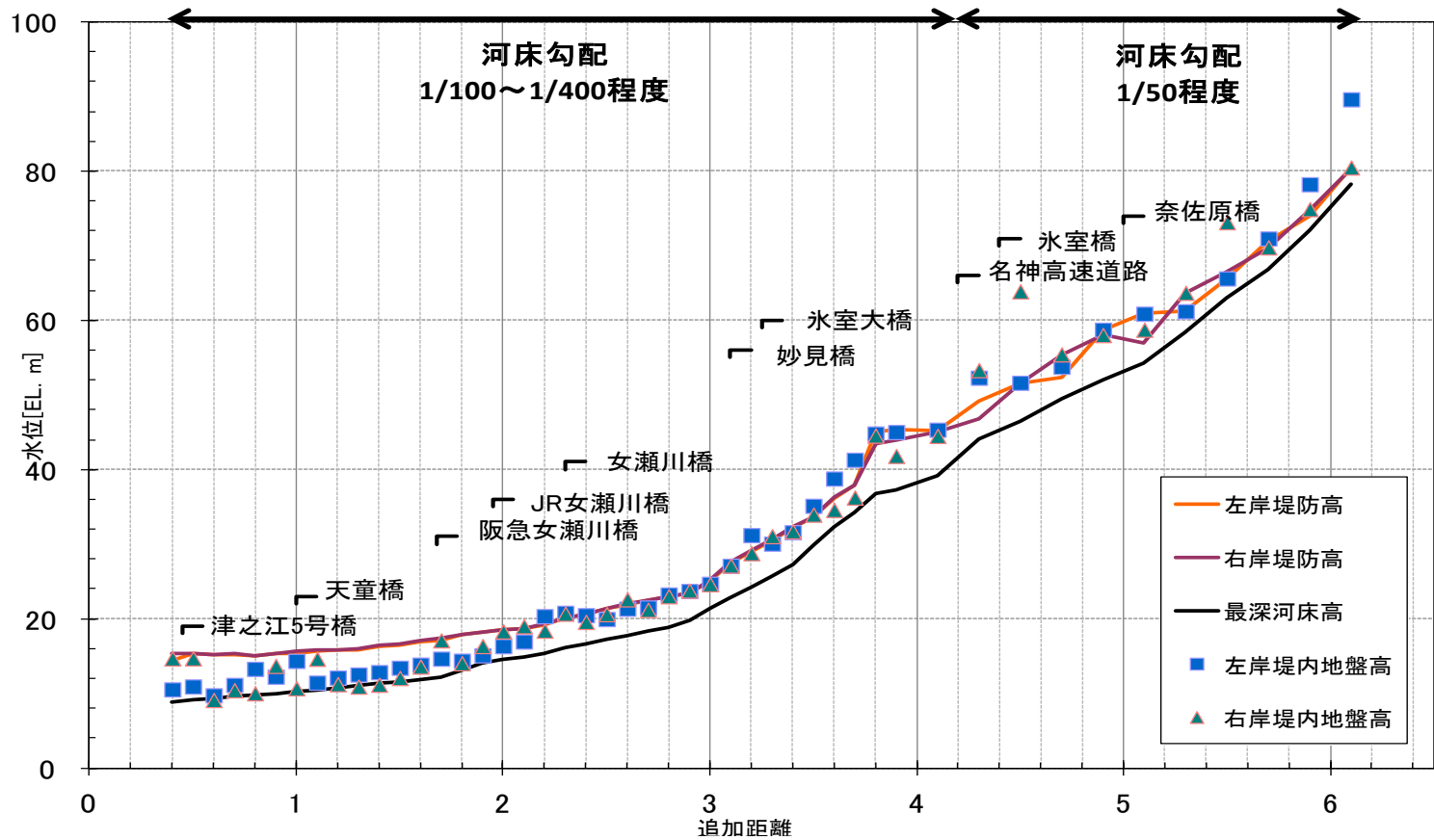


⑤女瀬川上流端付近



1. 淀川右岸ブロックの現状(女瀬川縦断形状)

女瀬川



1. 淀川右岸ブロックの現状(真如寺川)

- ・川幅は約5mで、河床勾配は1/130程度である。
- ・河道周辺は市街地となっており、護岸が整備されている。



①西真上橋下流付近から下流を見る

②名神高速付近より下流を見る

③名神高速付近より上流を見る

④芥川合流地点より930m上流付近から下流を見る

堀込区間

築堤区間

堀込区間

芥川

西真上橋

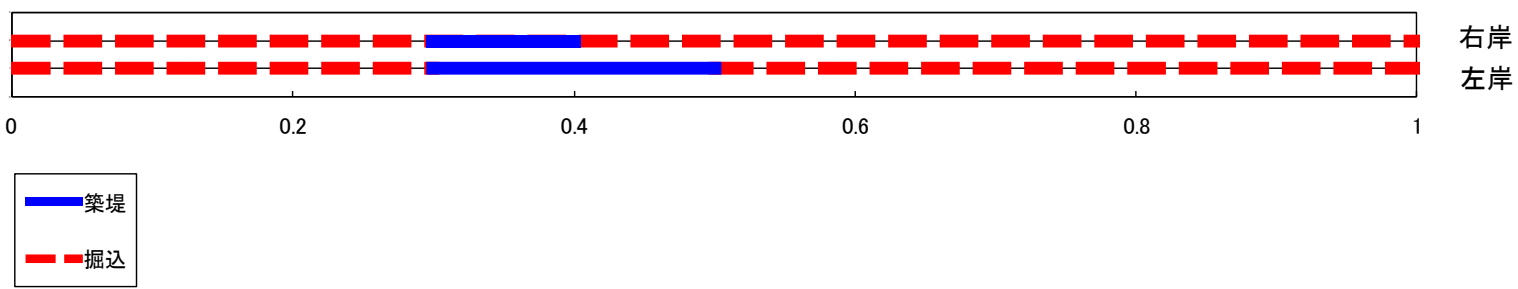
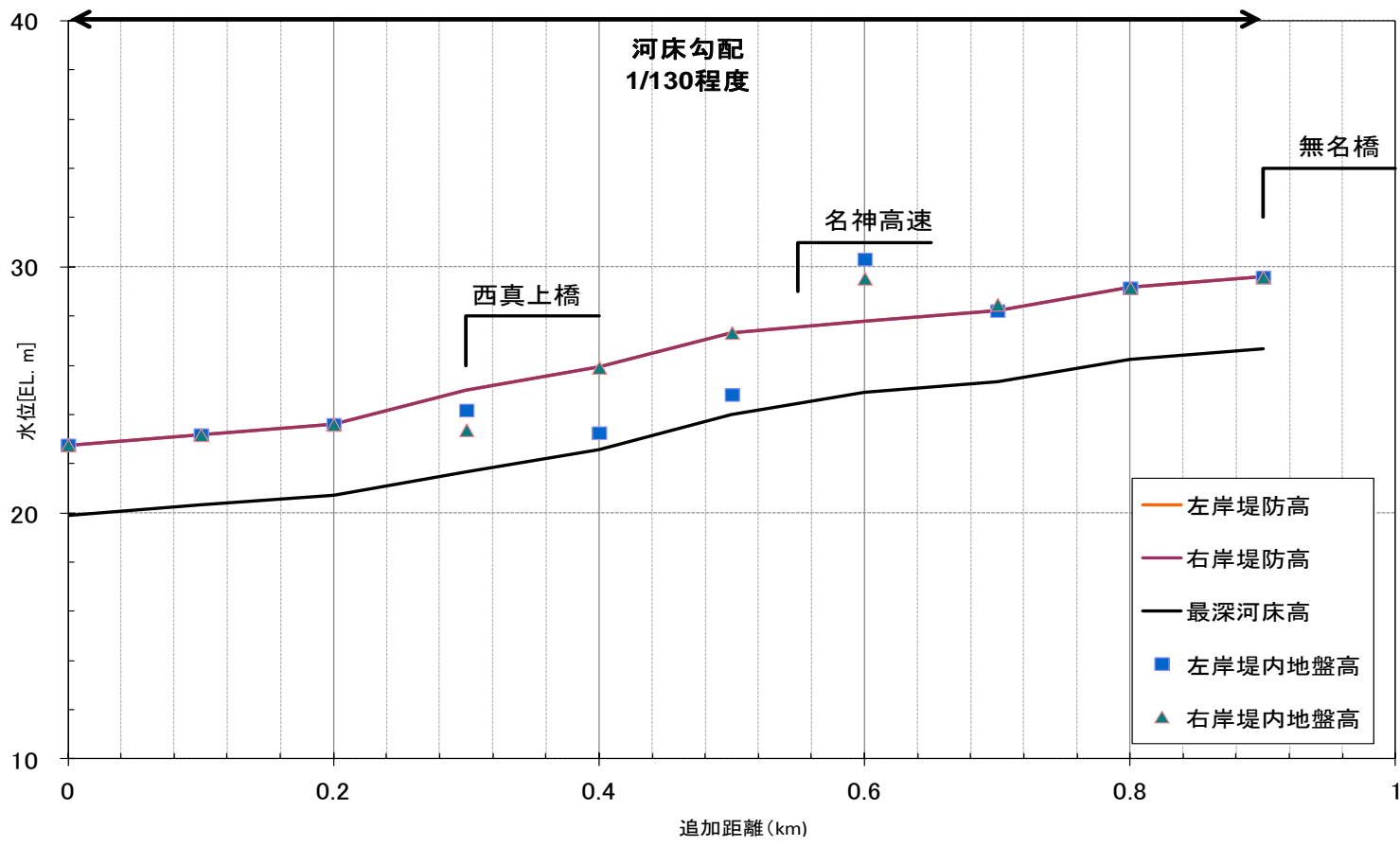
名神高速

無名橋

80mm程度対応済

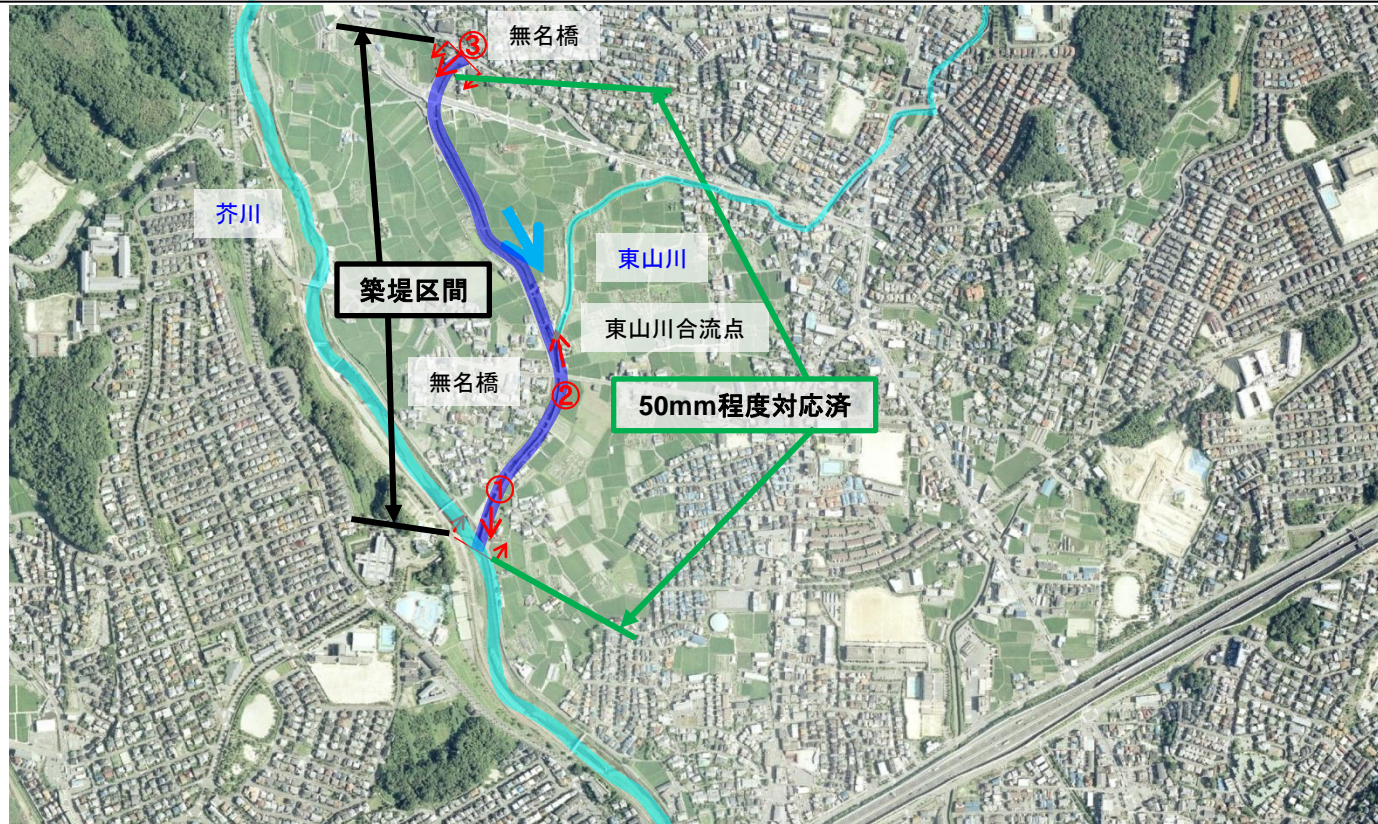
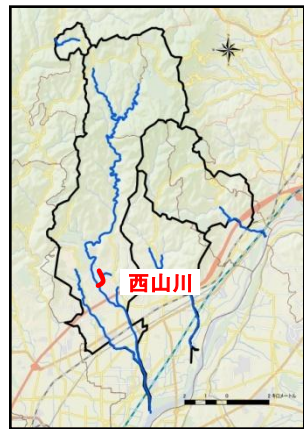
1. 淀川右岸ブロックの現状(真如寺川縦断形状)

● 真如寺川



1. 淀川右岸ブロックの現状(西山川)

- ・川幅は約10mで、河床勾配は1/70程度である。
- ・河道周辺は概ね農地となっているが、下流部では住宅地となっている。



①芥川との合流部



②無名橋より東山川合流点を見る

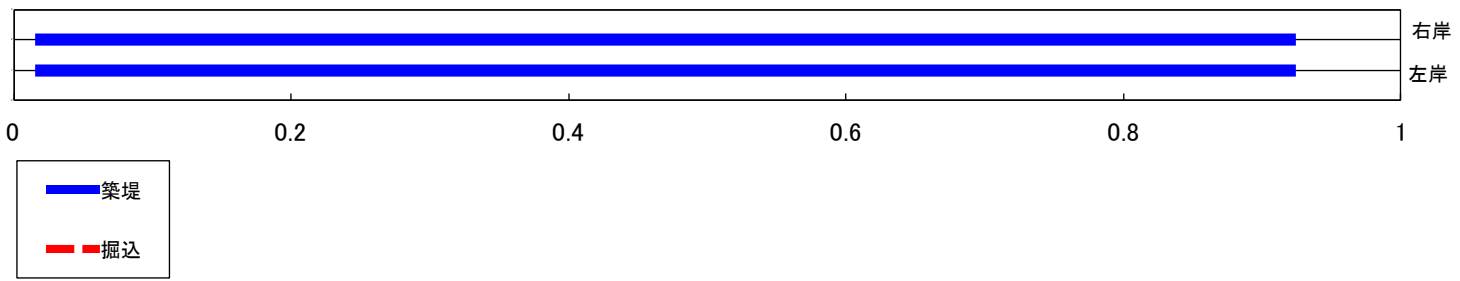
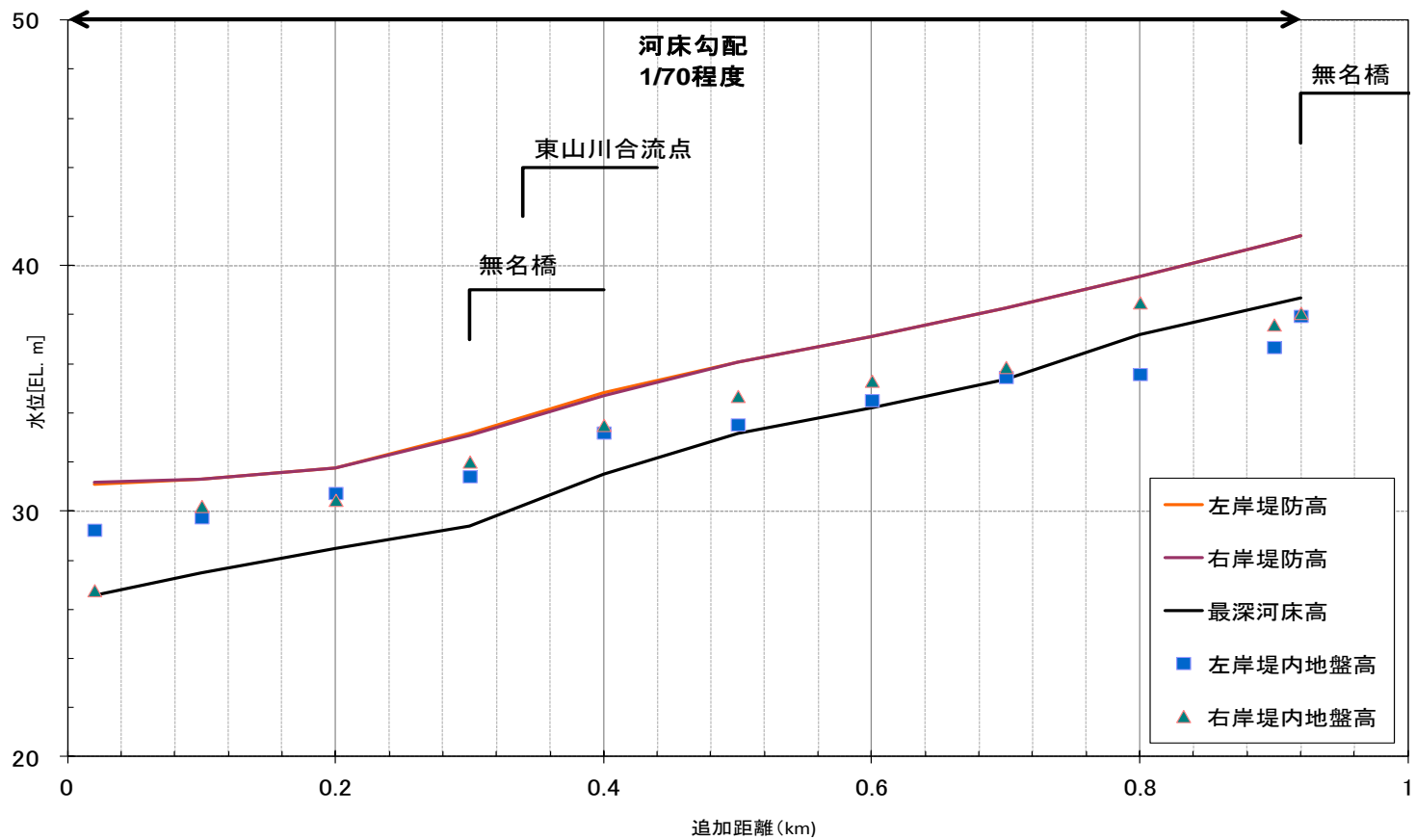


③無名橋から下流を見る



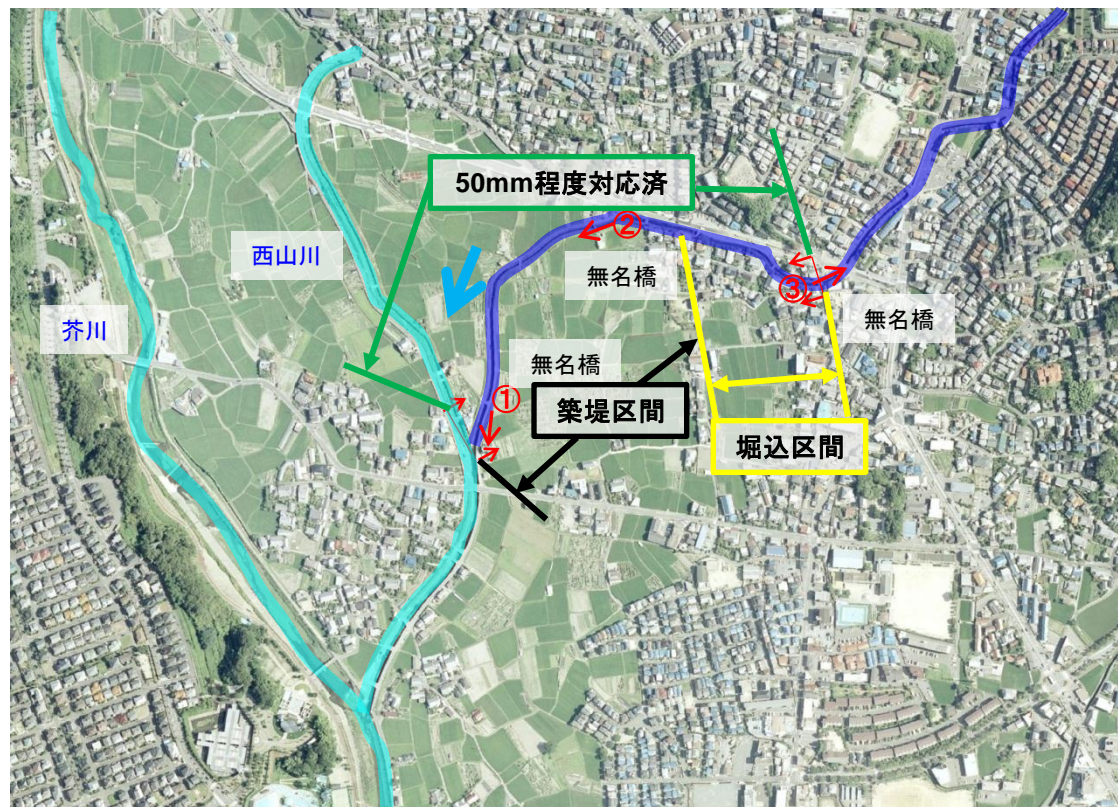
1. 淀川右岸ブロックの現状(西山川縦断形状)

西山川



1. 淀川右岸ブロックの現状(東山川)

- ・川幅は約5m程度で、河床勾配は1/70程度である。
- ・上流部には住宅地が広がり、下流部では農地が広がっている。



①無名橋から西山川合流付近を見る



②無名橋から下流を見る

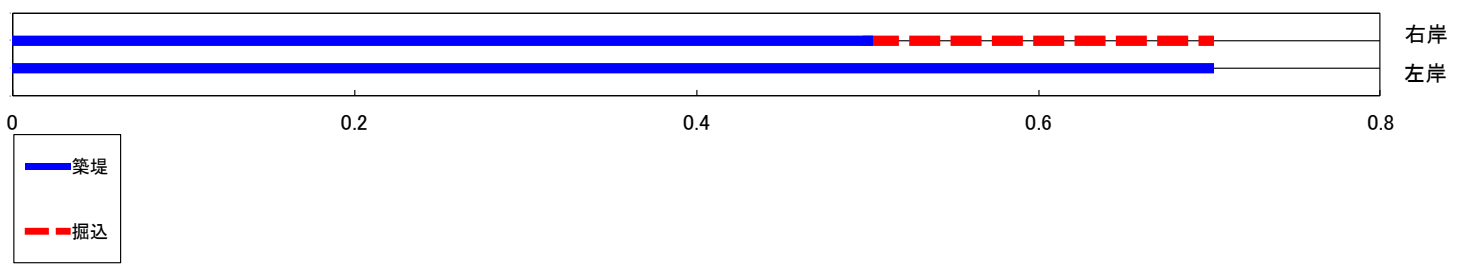
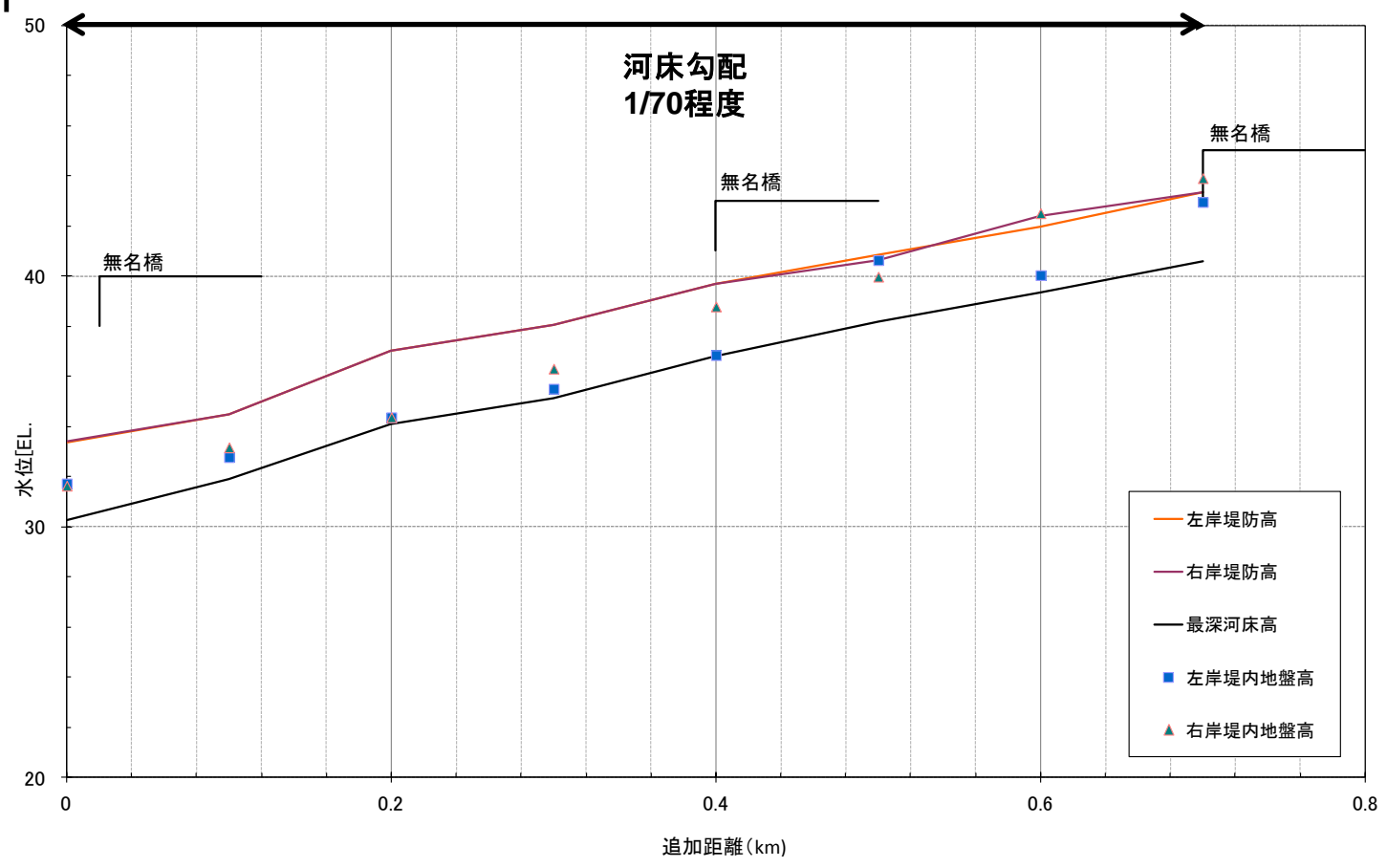


③無名橋から上流を見る



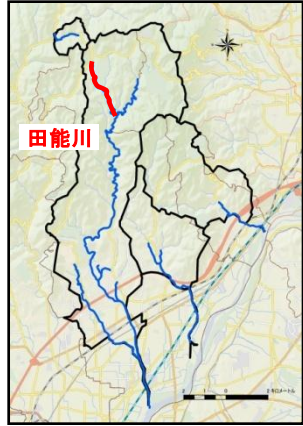
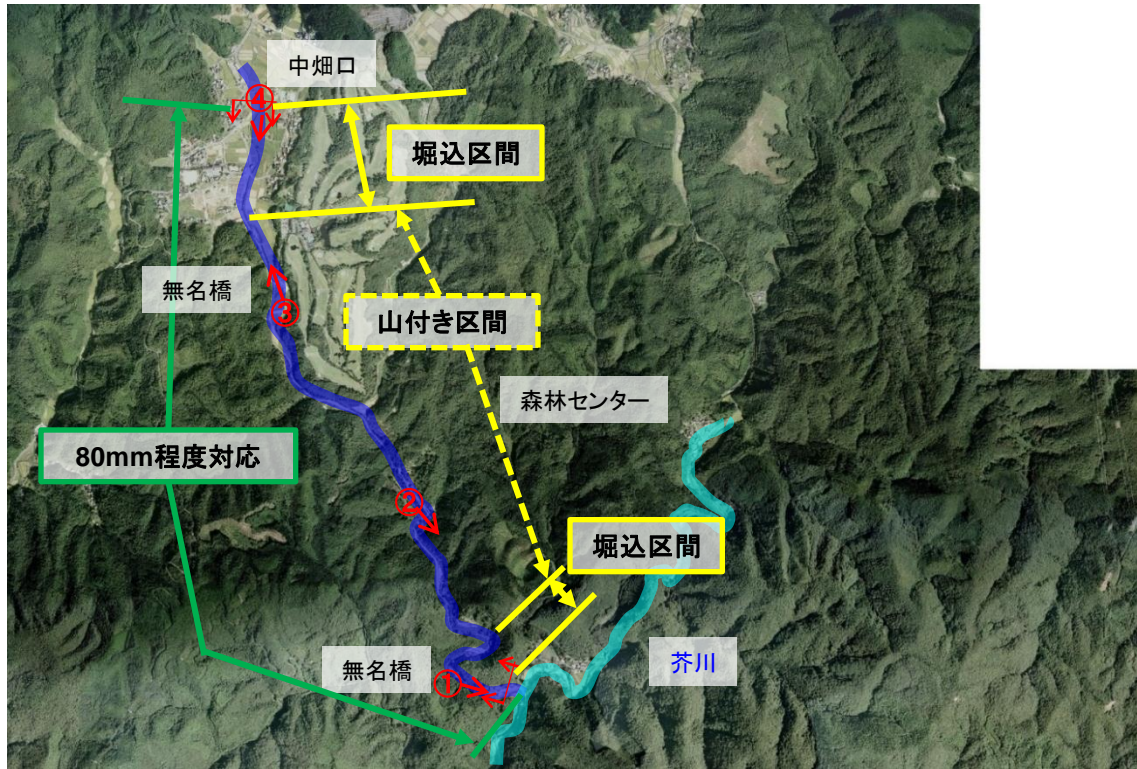
1. 淀川右岸ブロックの現状(東山川の縦断形状)

東山川



1. 淀川右岸ブロックの現状(田能川)

- ・川幅は約5mで、河床勾配は1/60程度である。
- ・山間部ではあるが、上流域には集落やゴルフ場などがある。



①無名橋より下流を見る



②森林センターより下流を見る



③無名橋から上流を見る

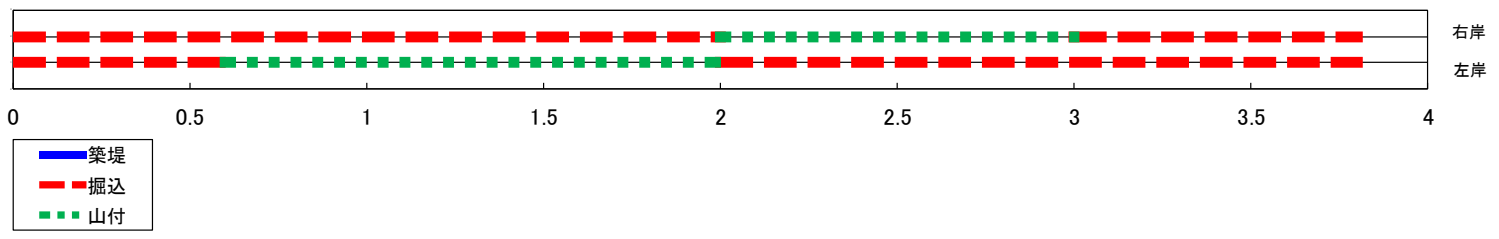
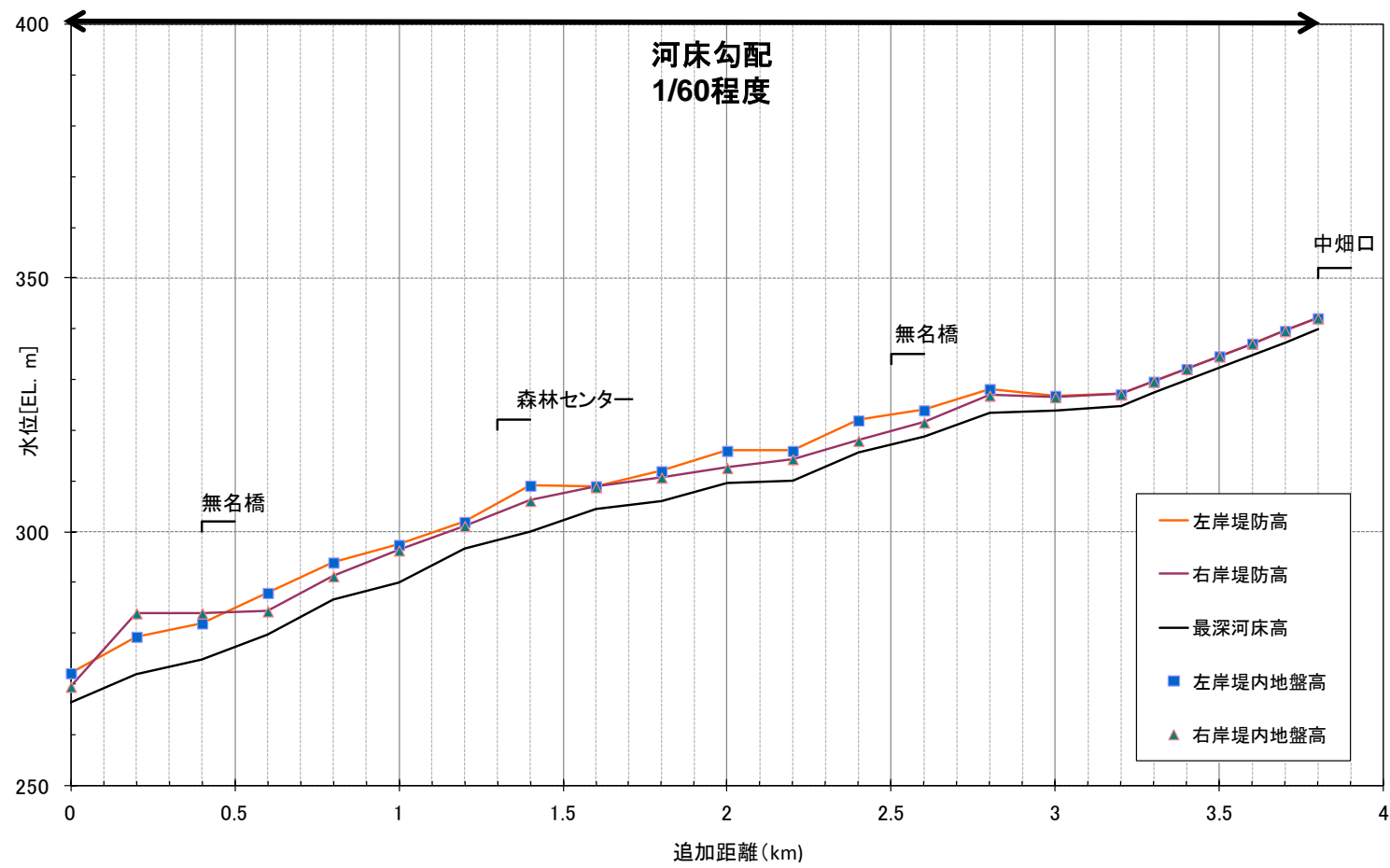


④中畑口付近より下流を見る



1. 淀川右岸ブロックの現状(田能川縦断形状)

田能川



1. 淀川右岸ブロックの現状(檜尾川)

● 檜尾川下流区間

(淀川合流点～JR東海道線)

- ・川幅は約25mであるが、淀川合流点付近では約70mに広がっている。
- ・河床勾配は1/150～1/600程度である。
- ・低水路部は矢板護岸、その上部はブロック護岸で整備されており、河道周辺は農地や住宅が広がっている。

① 演習橋より下流を見る。



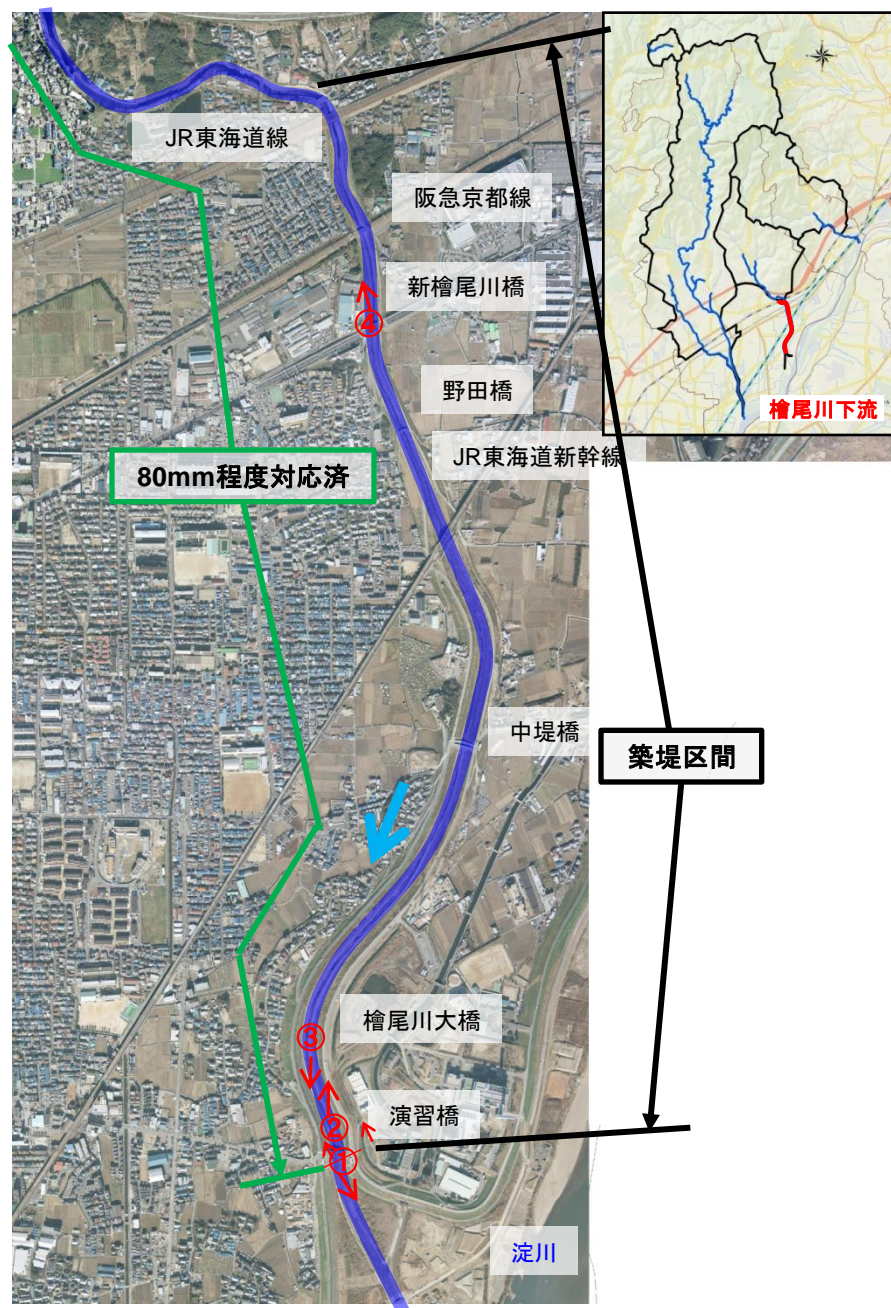
③ 檜尾川大橋より下流を見る。



② 演習橋より上流を見る。



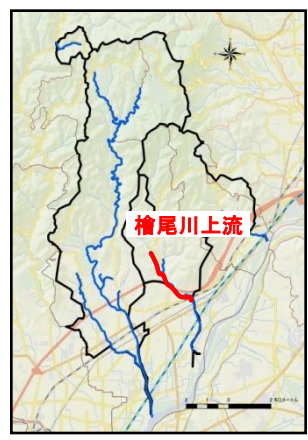
④ 新檜尾川橋より上流を見る



1. 淀川右岸ブロックの現状(檜尾川)

● 檜尾川上流区間(JR東海道線より上流)

- ・川幅は、山間部では約5m、山間部以外では約15m程度である。河床勾配は、概ね1/100~1/150程度である。
- ・河道周辺は農地や住宅地となっており、護岸が整備されている。



① 檜尾川橋より下流を見る



② 春日橋下流付近

③ 春日橋上流付近

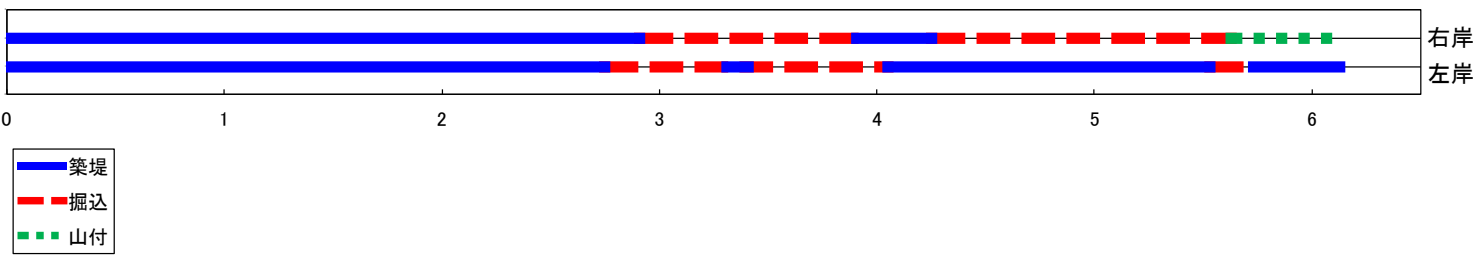
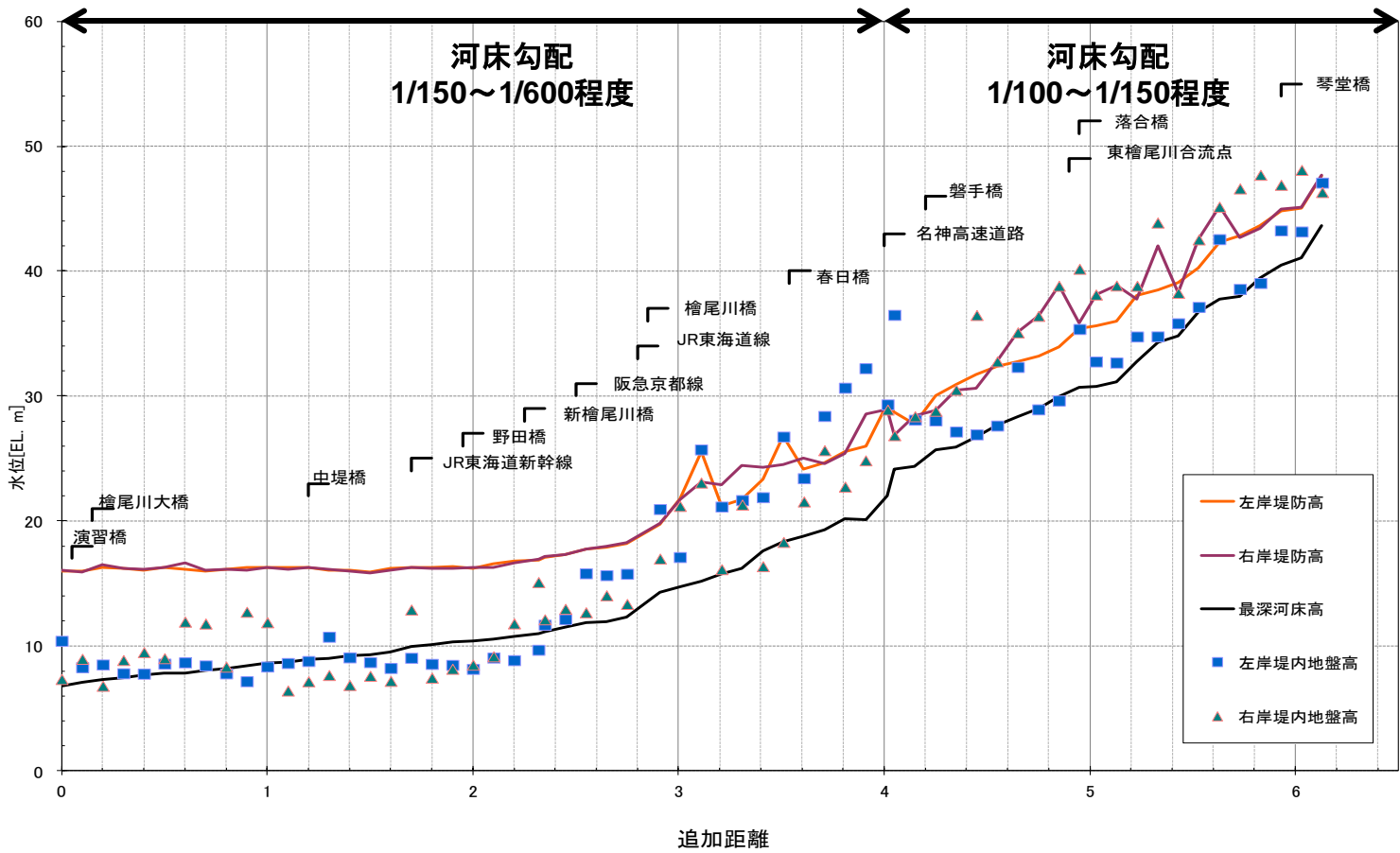


④ 磐手橋より下流を見る



1. 淀川右岸ブロックの現状 (檜尾川の縦断形状)

● 檜尾川



1. 淀川右岸ブロックの現状(東檜尾川)

- ・川幅は約5mで、河床勾配は1/70程度である。
- ・上流部では山地及び農地が隣接し、下流部では住宅地が広がっている。

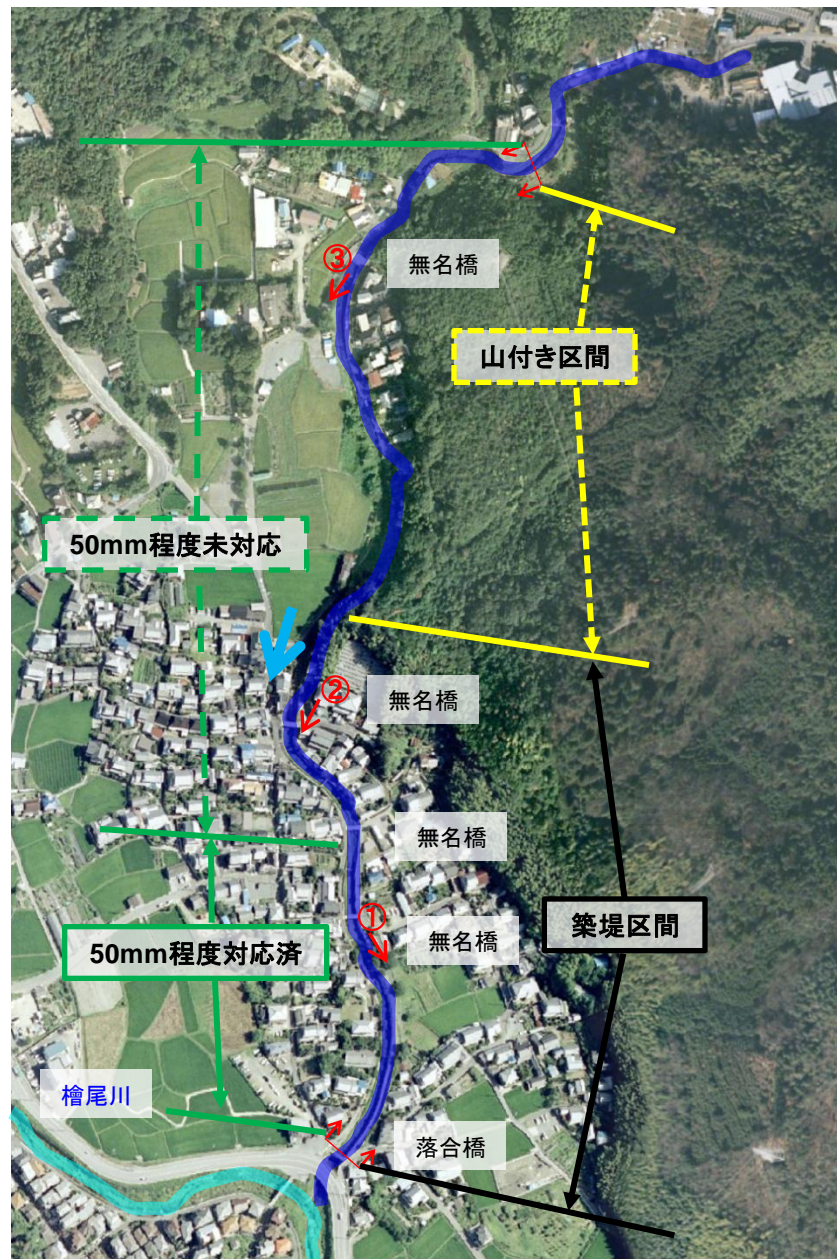
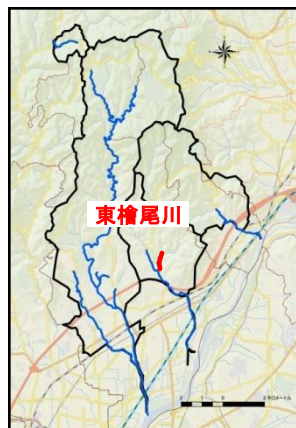
①無名橋から下流を見る



②無名橋から下流を見る

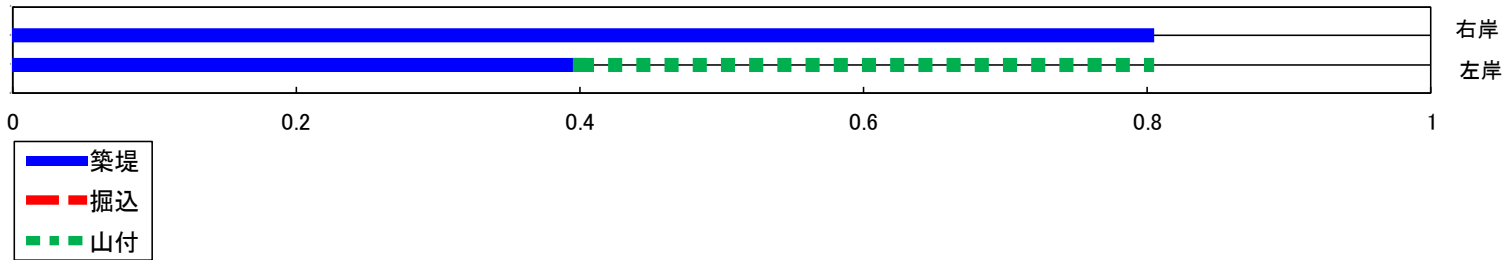
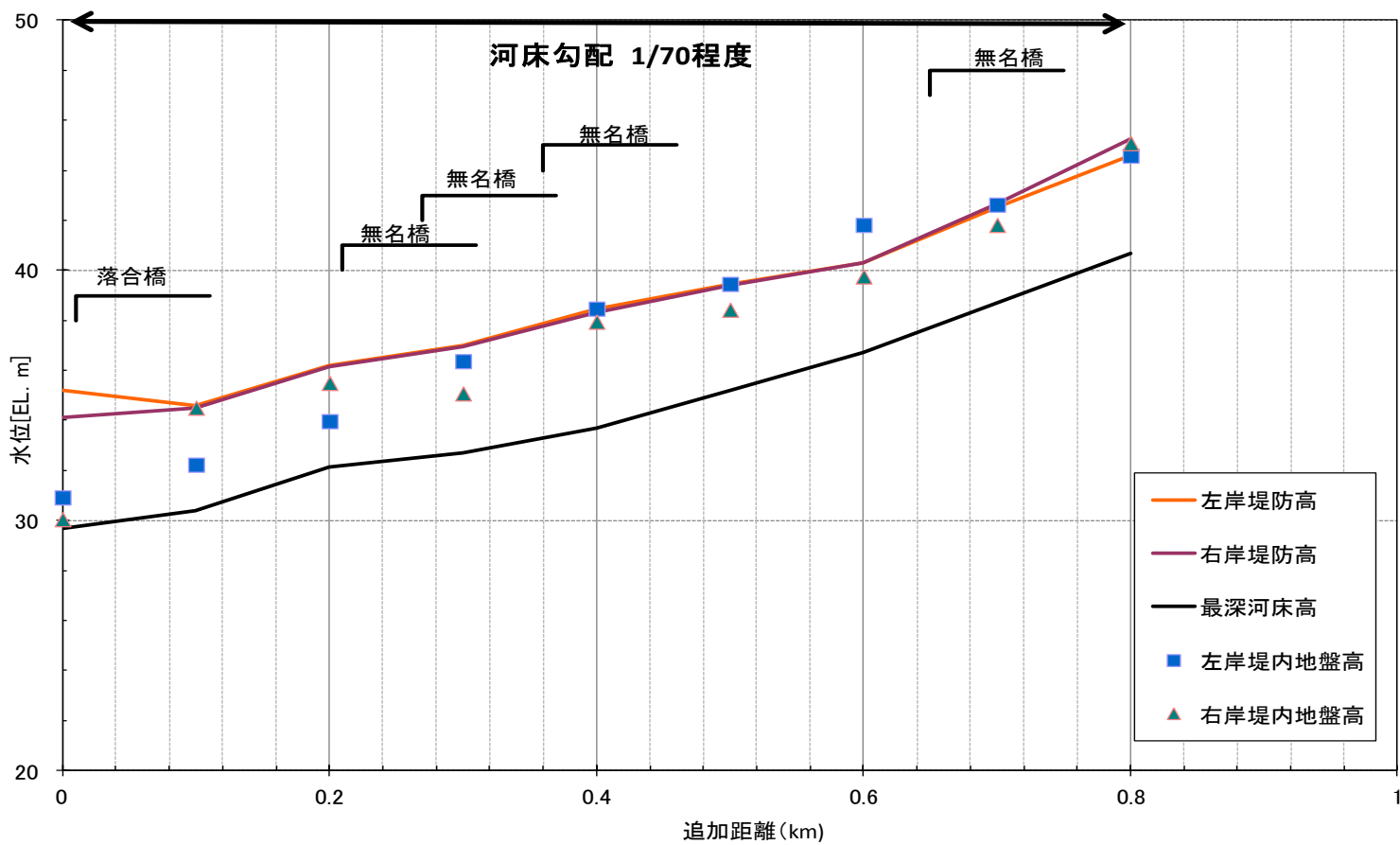


③無名橋から下流を見る



1. 淀川右岸ブロックの現状（東檜尾川の縦断形状）

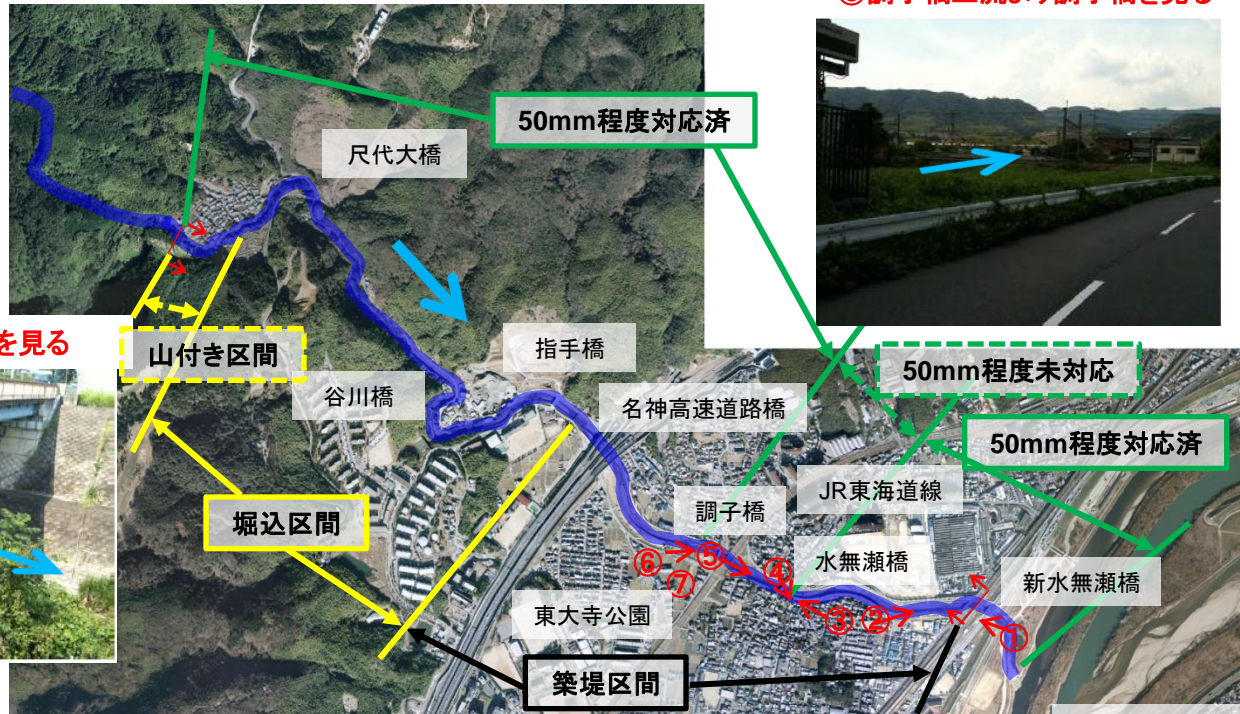
東檜尾川



1. 淀川右岸ブロックの現状(水無瀬川)

●水無瀬川

- ・上流部は山地で、川幅が約10mで河床勾配が1/30～1/70程度であり、下流部は市街地で、川幅が約25mで河床勾配が1/70～1/350程度である。
- ・JR東海道本線付近に東大寺公園が整備されている。



① 下流より新水無瀬橋を見る



② 水無瀬橋下流より下流を見る



③ 水無瀬橋下流より水無瀬橋を見る



④ 水無瀬橋上流より下流を見る



⑤ 調子橋より下流を見る



⑥ 調子橋上流より調子橋を見る

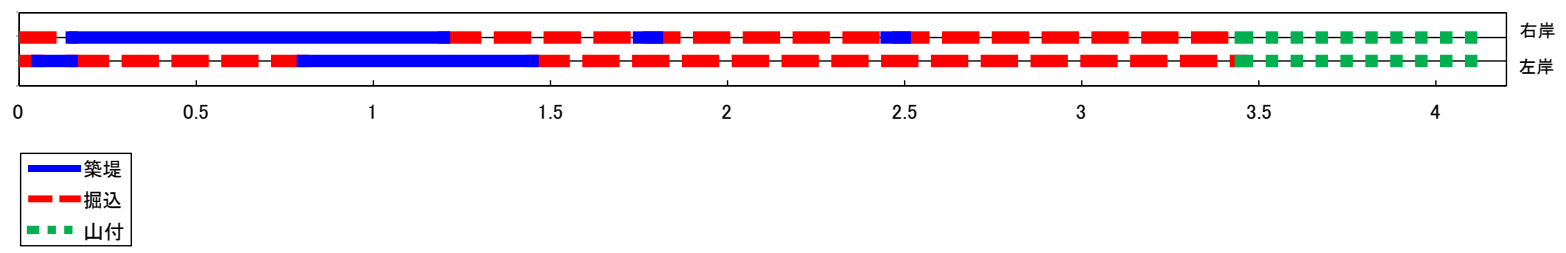
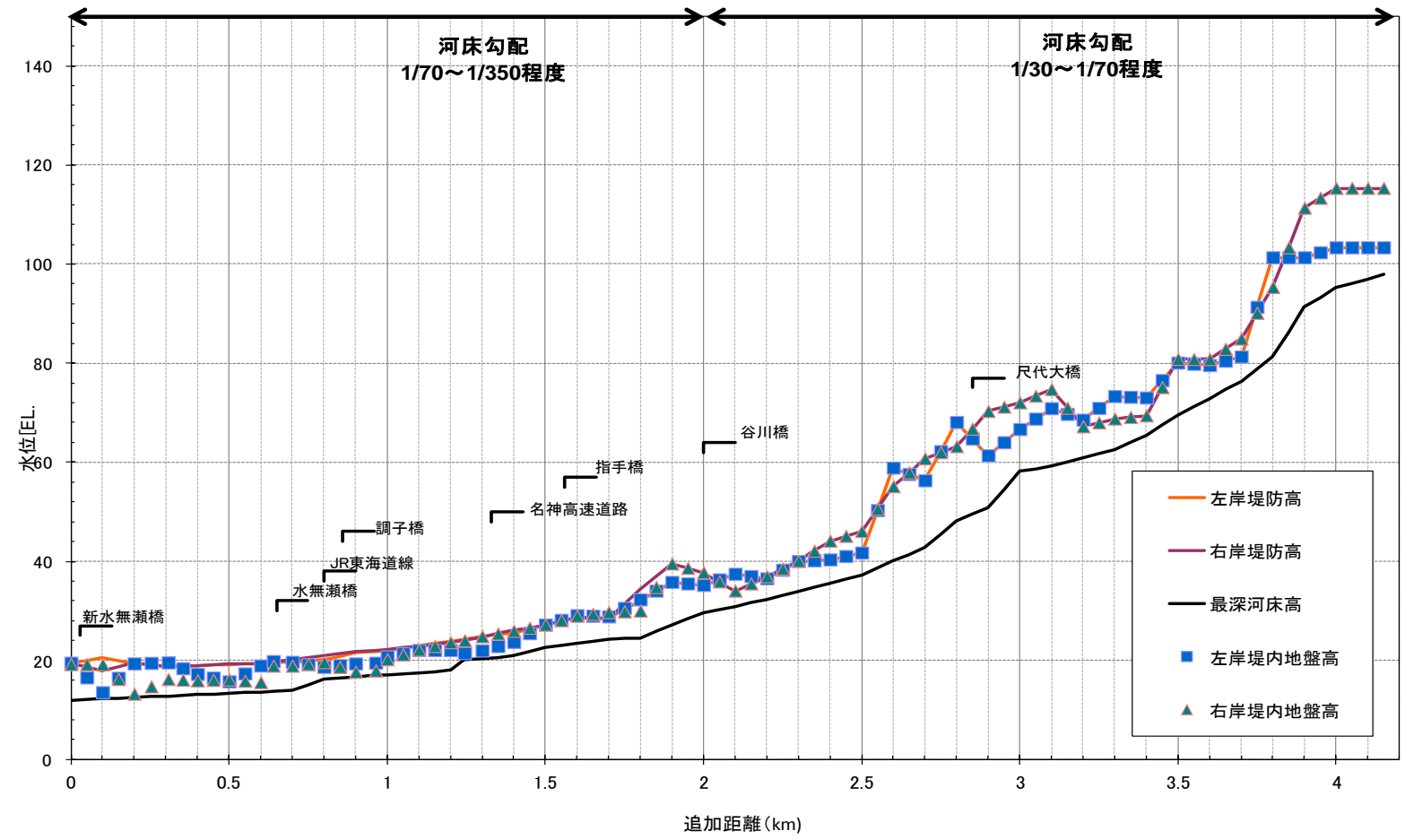


⑦ 東大寺公園



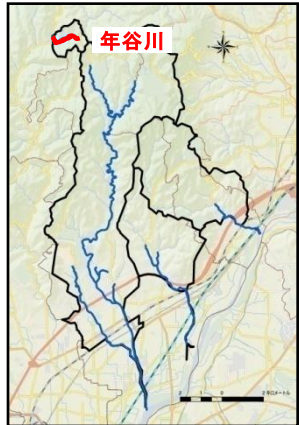
1. 淀川右岸ブロックの現状(水無瀬川の縦断形状)

水無瀬川



1. 淀川右岸ブロックの現状(年谷川)

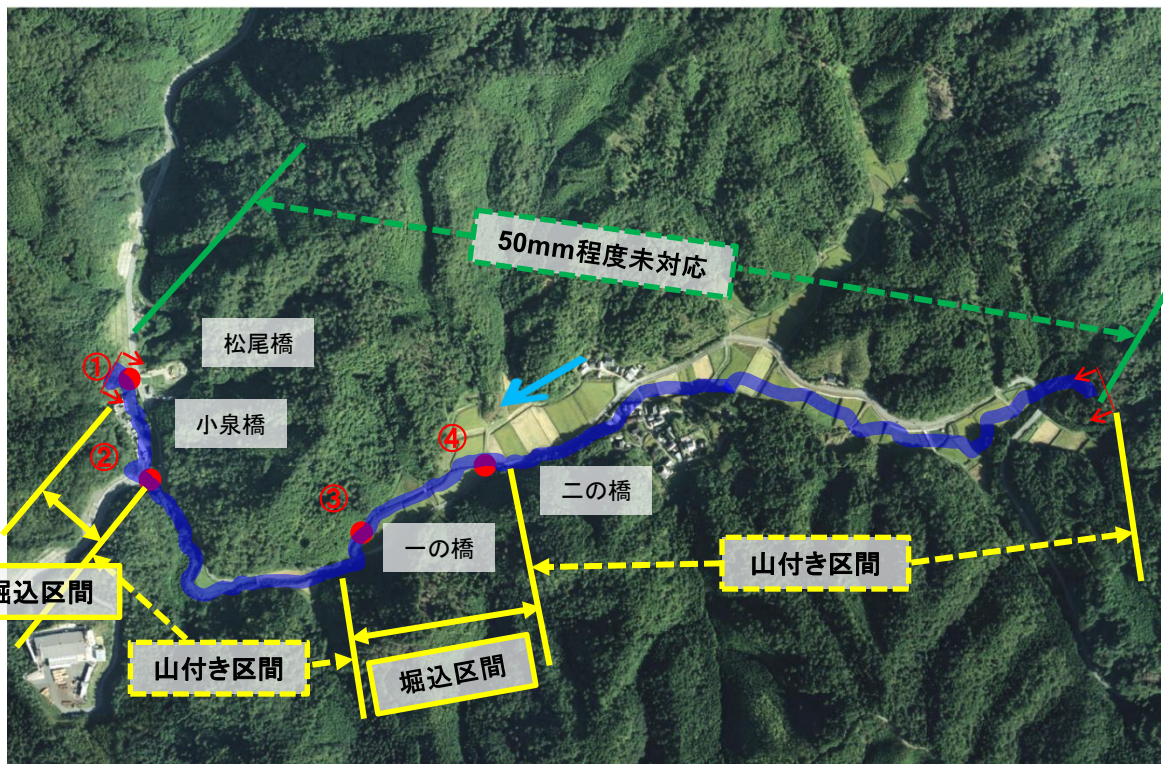
- ・川幅は約5m、河床勾配は1/40程度である。
- ・山地部を流れ、河道周辺は農地として利用されている。



①松尾橋付近



②小泉橋付近



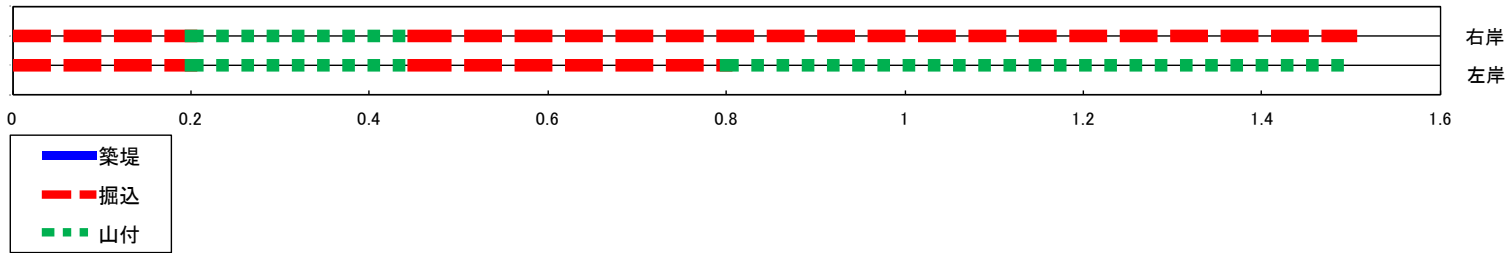
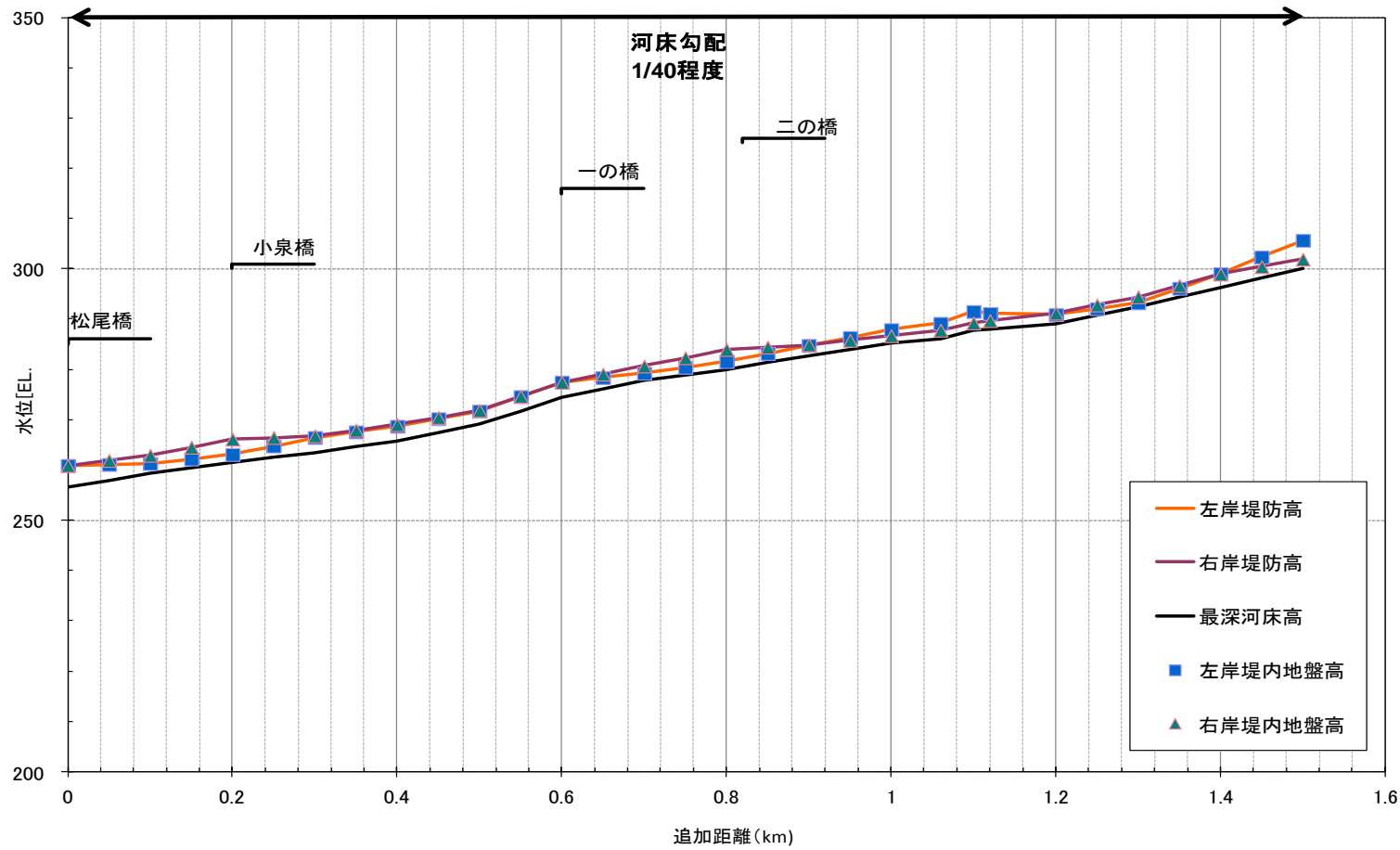
③一の橋付近



④二の橋付近

1. 淀川右岸ブロックの現状(年谷川縦断形状)

年谷川

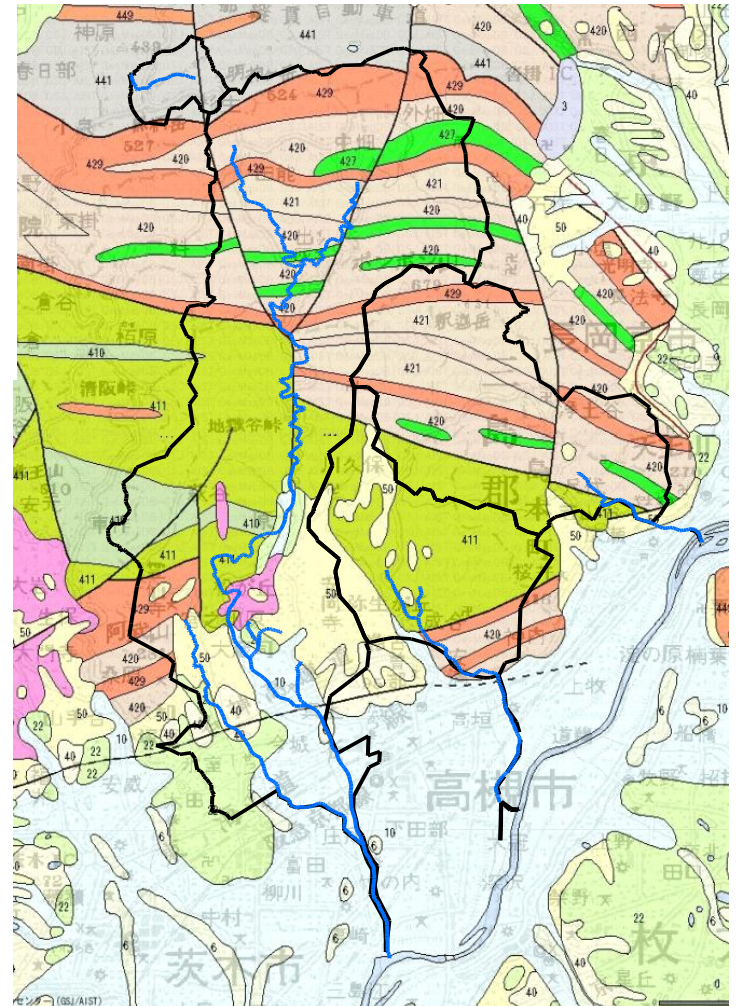


2. 淀川右岸ブロックの特性

●地質

淀川右岸ブロック地質については、中央部は古生代の砂岩、北部は中生代の砂岩がほとんどを占める。一方、南側の河川沿いの三角州性低地は新生代(第四紀)の堆積岩および自然堤防となっている。

表層地質図



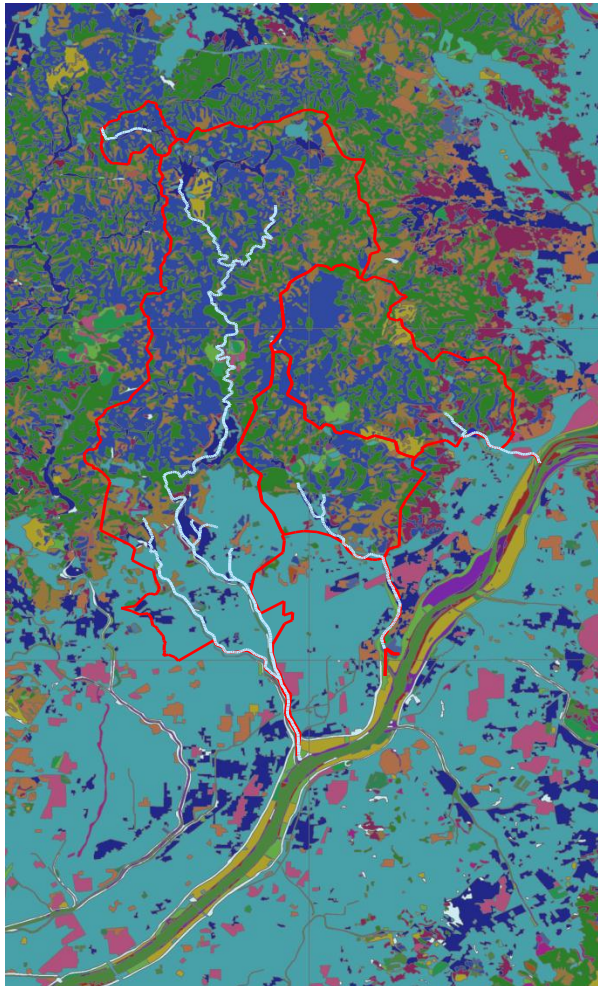
凡例

新生代	第四紀-堆積岩(扇状地)	3
	第四紀-堆積岩(湿地)	4
	第四紀-堆積岩(自然堤防)	6
	第四紀-堆積岩(H)	10
	第四紀-堆積岩(Q32)	22
	第四紀-堆積岩(Q1)	40
	第四紀-堆積岩(N3)	50
中生代	ジュラ紀-主として堆積岩(J1-2)	420
	ジュラ紀-主として堆積岩(砂岩)	421
	ジュラ紀-主として堆積岩(J2-3)	440
	ジュラ紀-主として堆積岩(砂岩)	441
	三畳紀-主として堆積岩(c4)	449
	白亜紀-主として堆積岩(K2)	470
古生代	ペルム紀-主として堆積岩(P)	410
	ペルム紀-主として堆積岩(砂岩)	411
	石炭紀-主として堆積岩(b2)	427
	石灰紀-主として堆積岩(c2)	429

2. 淀川右岸ブロックの特性

● 自然特性(植生)

上流域の山間部ではアベマキ・コナラ群集、スギ・ヒノキ・サワラ植林が存在する。中・下流域の平地では水田雑草群落が生息する。



凡 例

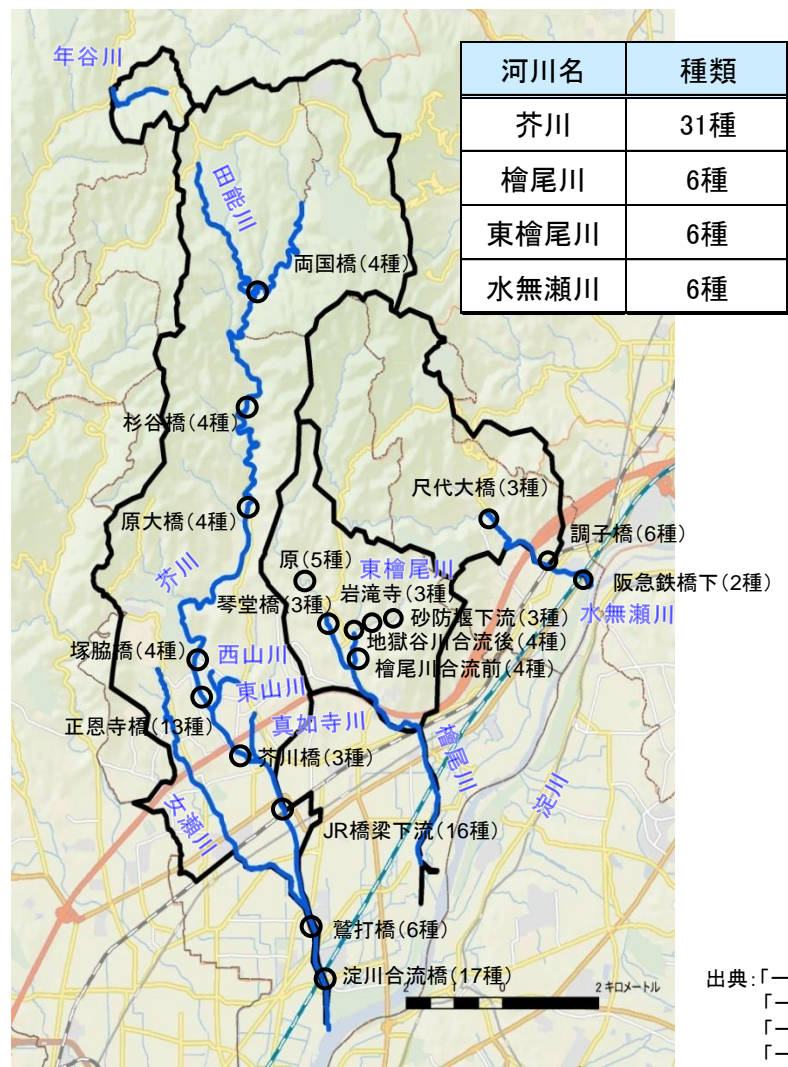
その他植林	伐採跡地群落 (V)
アベマキ・コナラ群集	伐採跡地群落 (VII)
アラカシ群落	工場地帯
カナメモチ・コジイ群集	市街地
クズ群落	果樹園
ゴルフ場・芝地	残存・植栽樹群をもった公園、墓地等
シイ・カシ二次林	水田雑草群落
スギ・ヒノキ・サワラ植林	河川敷砂礫地植生
ススキ群団 (VII)	畑地雑草群落
タブノキ・ヤブニッケイ二次林	竹林
チャボガヤ・イヌブナ群集	緑の多い住宅地
モチツツジ・アカマツ群集	自然裸地
ヤナギ高木群落 (VI)	路傍・空地雑草群落
ヨシクラス	造成地
	開放水域

出典: 環境省第7回植生調査
(2005~2009)

2.淀川右岸ブロックの特性

魚類

平成23年度の調査で、11科34種の魚類の生息が確認され、メダカ、ドジョウなどの貴重種も確認されている。



メダカ



ドジョウ



シマドジョウ



カワヒガイ

確認された貴重種

写真の出典：
「川の生物図典 1996.4 (財)リバーフロント整備センター編」

出典：「一級河川芥川 多自然型護岸検討業務報告書 平成9年3月」
 「一級河川茨木川 多自然型護岸検討業務報告書 平成10年3月」
 「一級河川安威川外 多自然型護岸検討業務報告書 平成11年2月」
 「一級河川芥川 河川環境調査業務委託報告書 平成24年2月」

2.淀川右岸ブロックの特性

魚類確認状況

科	種名	在来種 /外来種	芥川	檜尾川	東檜尾川	水無瀬川	環境省レッドリスト (2012)	大阪府 RDB(2000)
コイ	コイ		●					
	ゲンゴロウブナ		●					
	ギンフナ		●		●	●		
	フナ属		●					
	カネヒラ		●					要注目
	オイカワ		●	●	●	●		
	カワムツ		●	●		●		
	ヌマムツ		●		●			
	モツゴ		●					
	カワヒガイ		●					要注目
	ムギツク		●					絶滅危惧Ⅱ類
	カマツカ		●					要注目
	コウライニゴイ		●					
	ニゴイ属		●					
	コウライモロコ		●					要注目
アブラハヤ					●		情報不足	
タカハヤ		●	●	●			要注目	
ドジョウ	ドジョウ		●					絶滅危惧Ⅱ類
	シマドジョウ		●					要注目
ナマズ	ナマズ		●					
アユ	アユ		●					
カダヤシ	カダヤシ	外来種	●					
メダカ	メダカ		●				絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類
タウナギ	タウナギ	外来種						
サンフィッシュ	ブルーギル	外来種	●					
	オオクチバス	外来種	●					
ボラ	ボラ		●					
ドンコ	ドンコ		●	●	●	●		要注目
ハゼ	カワヨシノボリ		●	●	●	●		
	トウヨシノボリ		●					
	オオヨシノボリ		●					情報不足
	シマヨシノボリ		●	●				情報不足
	ヨシノボリ属		●					
	ヌマチチブ		●					

出典:「一級河川芥川 多自然型護岸検討業務報告書 平成9年3月」
「一級河川茨木川 多自然型護岸検討業務報告書 平成10年3月」
「一級河川安威川外 多自然型護岸検討業務報告書 平成11年2月」
「一級河川芥川 河川環境調査業務委託報告書 平成24年2月」

区分	備考
絶滅危惧Ⅰ類	絶対の危機に瀕している種
絶滅危惧Ⅱ類	全滅の危険が増大している種
準絶滅危惧	存続基盤が貧弱な種
情報不足	評価するだけの情報が不足している種
要注目	注目を要する種

2.淀川右岸ブロックの特性

底生生物

平成22年度の調査で、9科10種の貴重種および外来種の生息が確認された。貴重種としては、カワニナ、モノアラガイ、ホンサナエなどが確認されている。

底生動物目別種数一覧

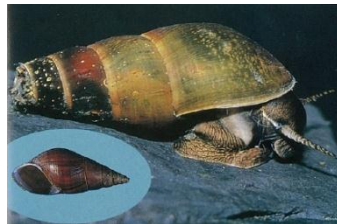
目名	科名	種名	調査地区			在来種／外来種	環境省レッドリスト (2012)	大阪府RDB (2000)
			正恩寺橋下流	JR橋梁下流	淀川合流部			
盤足	カワニナ	カワニナ	○					要注目
		チリメンカワニナ	○		○			要注目
基眼	モノアラガイ	モノアラガイ	○				準絶	要注目
	サカマキガイ	サカマキガイ	○		○	外来種		
トンボ	サナエトンボ	ホンサナエ	○					準絶
コウチュウ	ホタル	ゲンジボタル	○	○				要注目
順列	サンカクアタマズムシ	アメリカナミウズムシ		○	○	外来種		
ヨコエビ	マミズヨコエビ	フロリダマミズヨコエビ		○	○	外来種		
エビ	ヌマエビ	Neocaridina属	○	○	○	外来種		
	アメリカザリガニ	アメリカザリガニ	○	○	○	外来種		

出典:「一級河川芥川 河川環境調査業務委託報告書 平成23年2月」



ゲンジボタル

区分	備考
絶滅危惧Ⅰ類	絶対の危機に瀕している種
絶滅危惧Ⅱ類	全滅の危険が増大している種
準絶滅危惧	存続基盤が貧弱な種
情報不足	評価するだけの情報が不足している種
要注目	注目を要する種



カワニナ



モノアラガイ

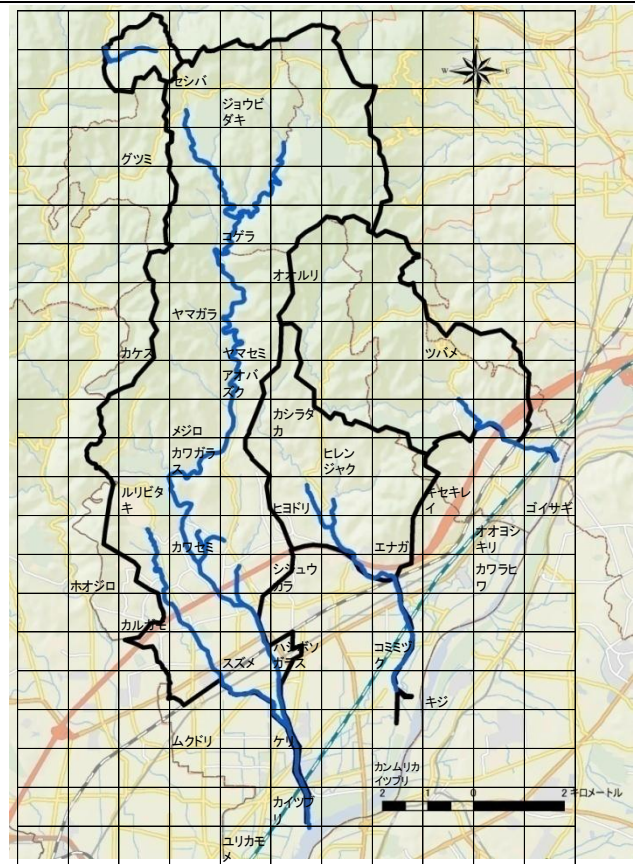
写真の出典:
「川の生物図典 1996.4 (財)リバーフロント整備センター編」

2. 淀川右岸ブロックの特性

鳥類

既往の調査で、36種の鳥類の生息が確認された。貴重種としては、ヤマセミ、カワガラス、オオヨシキリなどが確認されている。

種名	環境省レッドリスト (2012)	大阪府RDB (2000)
サシバ	絶 II	準絶
ジョウビタキ		
ツグミ		
コゲラ		
オオルリ		準絶
ヤマガラ		
カケス		
ヤマセミ	絶 II	
ツバメ		
アオバズク		絶 II
メジロ		
カシラダカ		
カワガラス		準絶
ヒレンジャク		
ルリビタキ		
ヒヨドリ		
キセキレイ		
ゴイサギ		
カワセミ		準絶
エナガ		
オオヨシキリ		準絶
ホオジロ		
シジュウカラ		
カワラヒワ		
カルガモ		
スズメ		
ハシボソガラス		
コミミツク		絶 II
キジ		
ムクドリ		
ケリ		要注目
カムリカイツブリ		要注目
カイツブリ		
ユリカモメ		
コサギ		
トビ		



ヤマセミ



カワガラス



オオヨシキリ

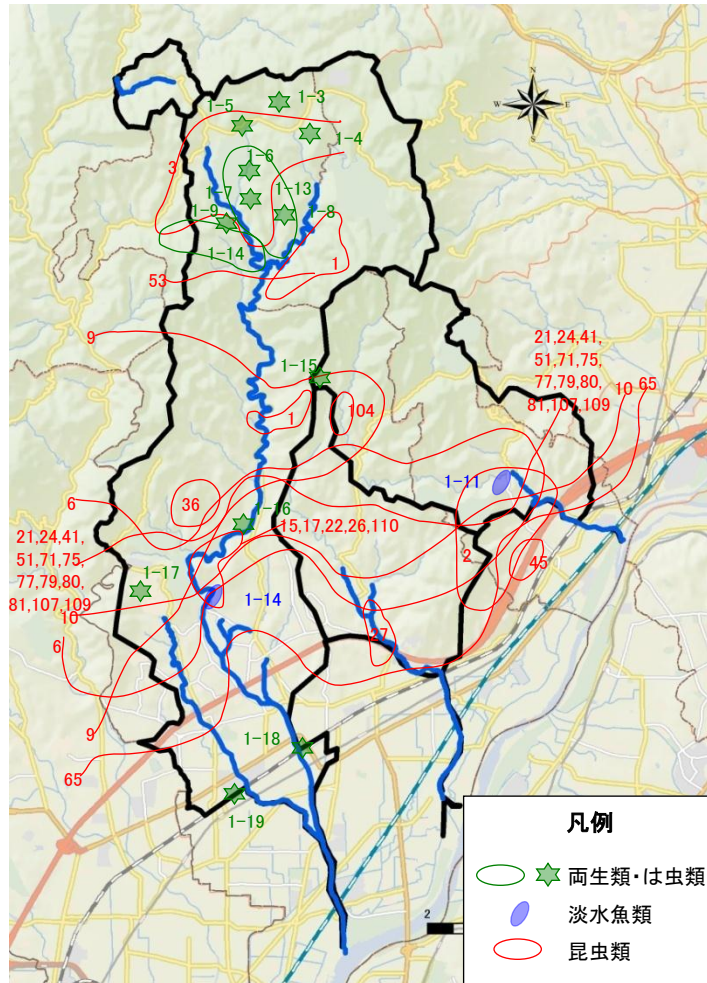
区分	備考
絶滅危惧 I 類	絶対の危機に瀕している種
絶滅危惧 II 類	全滅の危険が増大している種
準絶滅危惧	存続基盤が貧弱な種
情報不足	評価するだけの情報が不足している種
要注目	注目を要する種

写真の出典：
「川の生物図典 1996.4
(財)リバーフロント整備センター編」

2.淀川右岸ブロックの特性

●昆虫類

・林やそれに囲まれた溪流にすむオオムラサキ、ムカシトンボ等が確認されている。中流域ではゲンジボタルやその餌となるカワニナが確認されている。



昆虫類

番号	種名	大阪府RDB (2000)	環境省レッドリスト (2012)
1	ムカシトンボ	準絶滅危惧	
2	ムカシヤンマ	準絶滅危惧	
3	ハッチョウトンボ	準絶滅危惧	
6	ハルゼミ		
9	オオムラサキ	準絶滅危惧	
10	ゲンジボタル	要注目	
15	キイロサナエ	準絶滅危惧	
17	タバサナエ		
21	オオリボシヤンマ	準絶滅危惧	
22	キイロヤマトンボ	絶滅危惧Ⅰ類	準絶滅危惧 (NT)
24	オオエツトンボ		
26	ヨツボシトンボ		
27	ナニワトンボ	準絶滅危惧	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
36	エゾハサミムシ		
41	ヤマクダマキモドキ		
45	アオマツムシ		
51	ダイリフキバッタ	準絶滅危惧	
53	アカスジキンカメムシ		
65	テッチゼミ		
71	アキタクロナガオサムシ		
75	マヤサンオサムシ		
77	ゲンゴロウ	絶滅危惧Ⅰ類	
79	ガムシ	準絶滅危惧	
80	オオクワガタ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
81	ネブトクワガタ		
104	モンキジカバテ		
107	ホソバセセリ		
109	クロヒカゲモドキ	準絶滅危惧	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
110	キマダラルリツバメ	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危惧 (NT)

両生類・は虫類

種番号	種名	大阪府レッドデータブック	環境省レッドデータブック
Rb	ダルマガエル	絶滅危惧Ⅰ類	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
Pe	モリアオガエル	準絶滅危惧	
Uq	オオサンショウウオ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
Uf	カスミサンショウウオ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類 (VU)
Uc	ヒダサンショウウオ	準絶滅危惧	

淡水魚類

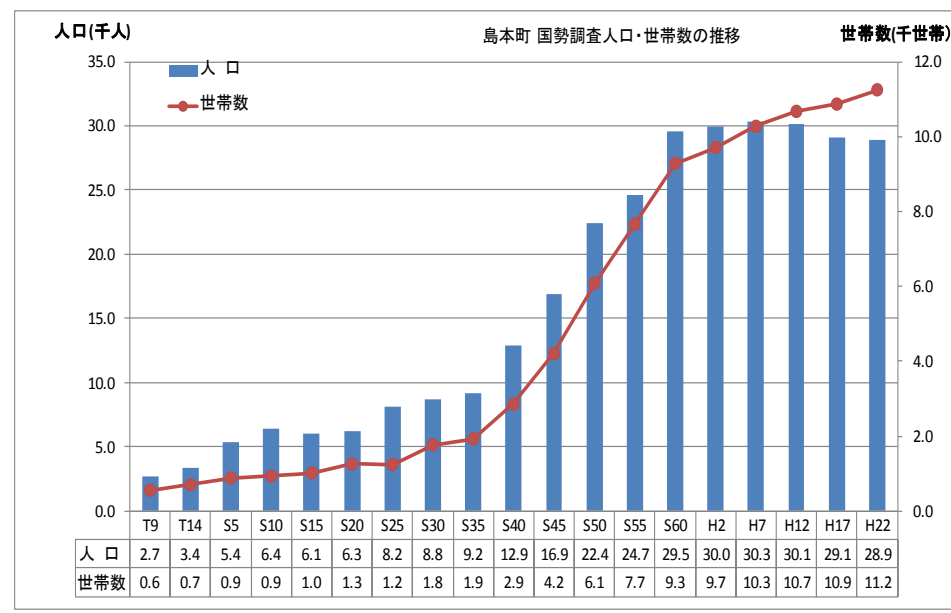
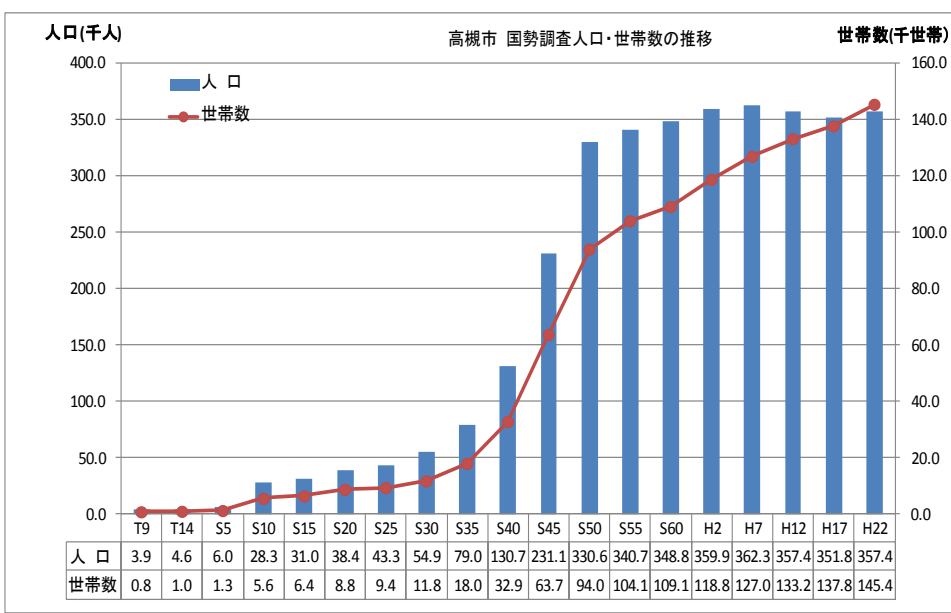
種番号	種名	大阪府レッドデータブック	環境省レッドデータブック
Alan	ヤリタナゴ	絶滅危惧Ⅱ類	
Lc	アユモドキ	絶滅危惧Ⅰ類	絶滅危惧ⅠA類

出典：第2回自然環境保全基礎調査 S56環境省

2. 淀川右岸ブロックの特性

● 自然特性(人口)

- ・高槻市と島本町の人口は、高度成長期である昭和35年頃から急激に増加し、現在はゆるやかに増加している。また、世帯数は、現在ほぼ横ばいで推移している。



※) 流域内ではなく、市および町全体の値である。

出典：国勢調査

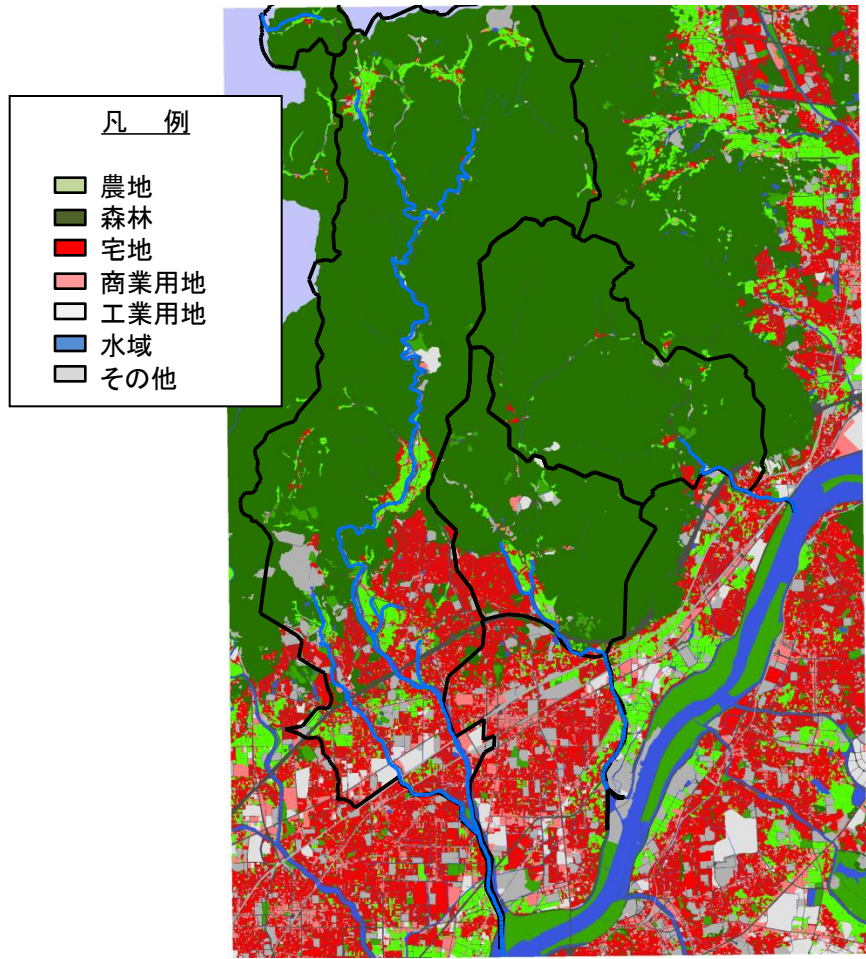
高槻市・島本町の人口の推移

2.淀川右岸ブロックの特性

●土地利用

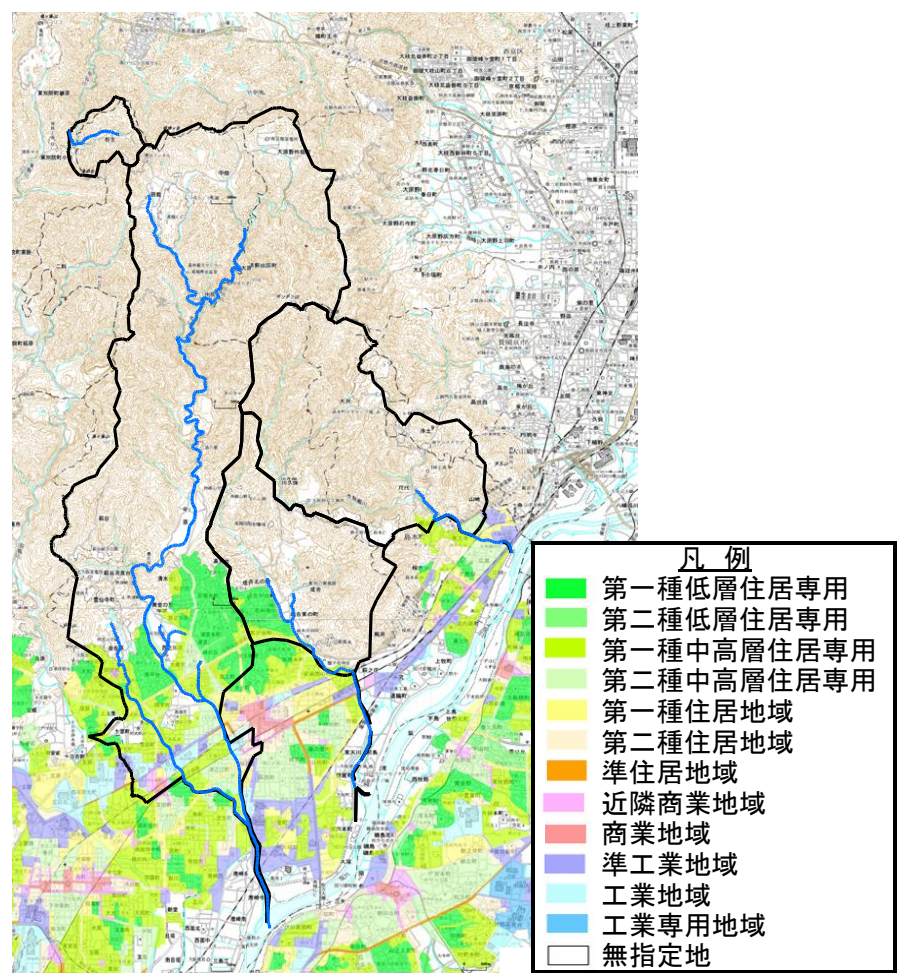
■芥川流域の現況土地利用

・芥川流域は、摂津峡下流部において、市街化されており、上流部は山地となっている。檜尾川、水無瀬川流域は、名神高速道路下流部が市街化されており、上流部は山地となっている。



土地利用図

出典：近畿圏 土地利用5000[2008] 国土地理院



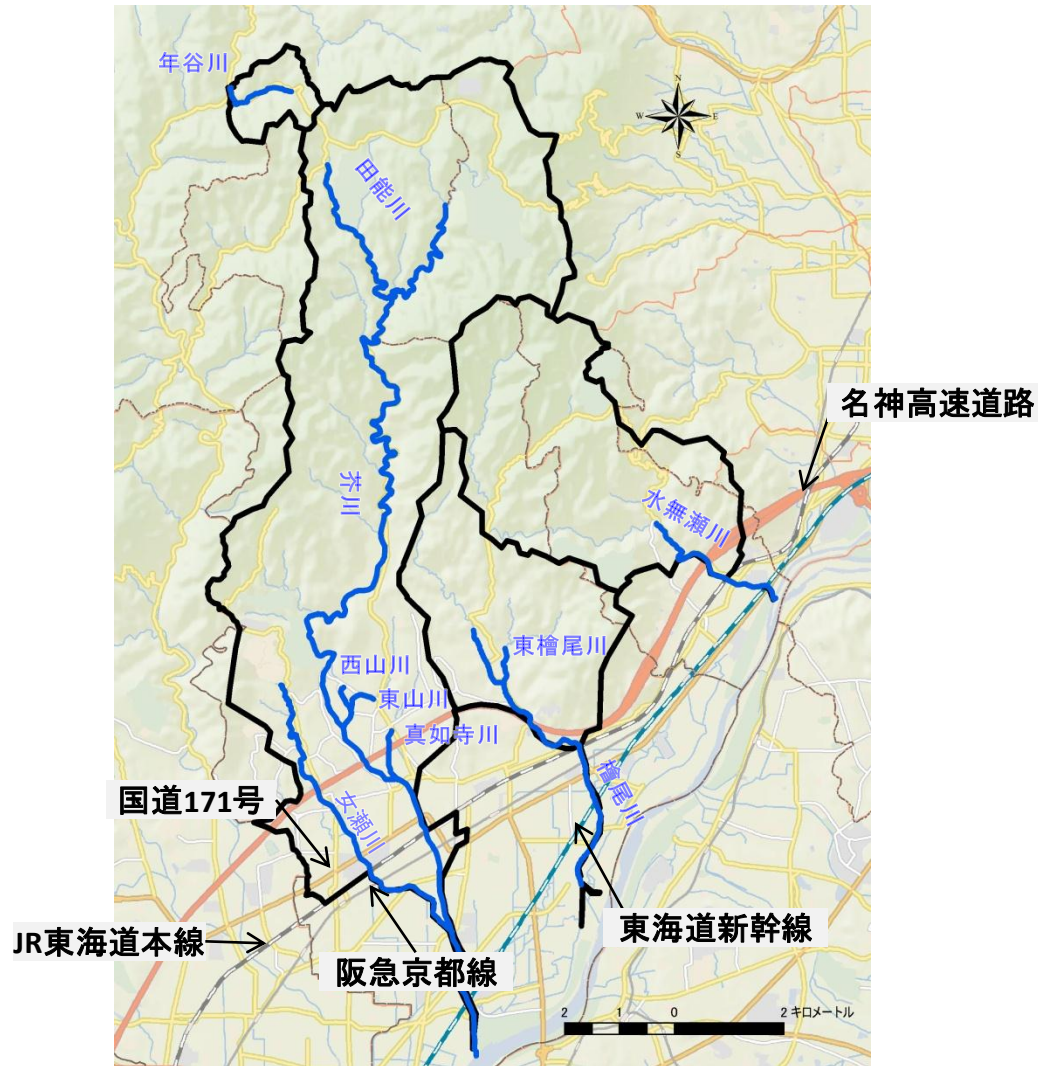
用途地域

出典：大阪府地理情報システム(データ作成 平成23年4月1日現在)

2. 淀川右岸ブロックの特性

●交通

・江戸時代では西国街道沿いの芥川宿として賑わい、現在では国道171号、名神高速道路、JR東海道本線、阪急京都線、JR新幹線が整備され交通の要衝となっている。



2. 淀川右岸ブロックの特性

●文化財

この地は変化に富んだ地勢に恵まれ、大和・山城など内陸部と瀬戸内を結ぶ淀川が育んだ交流は、この地に豊かな文化を築き、史跡や文化財を多く残している。

高槻市指定文化財一覧表

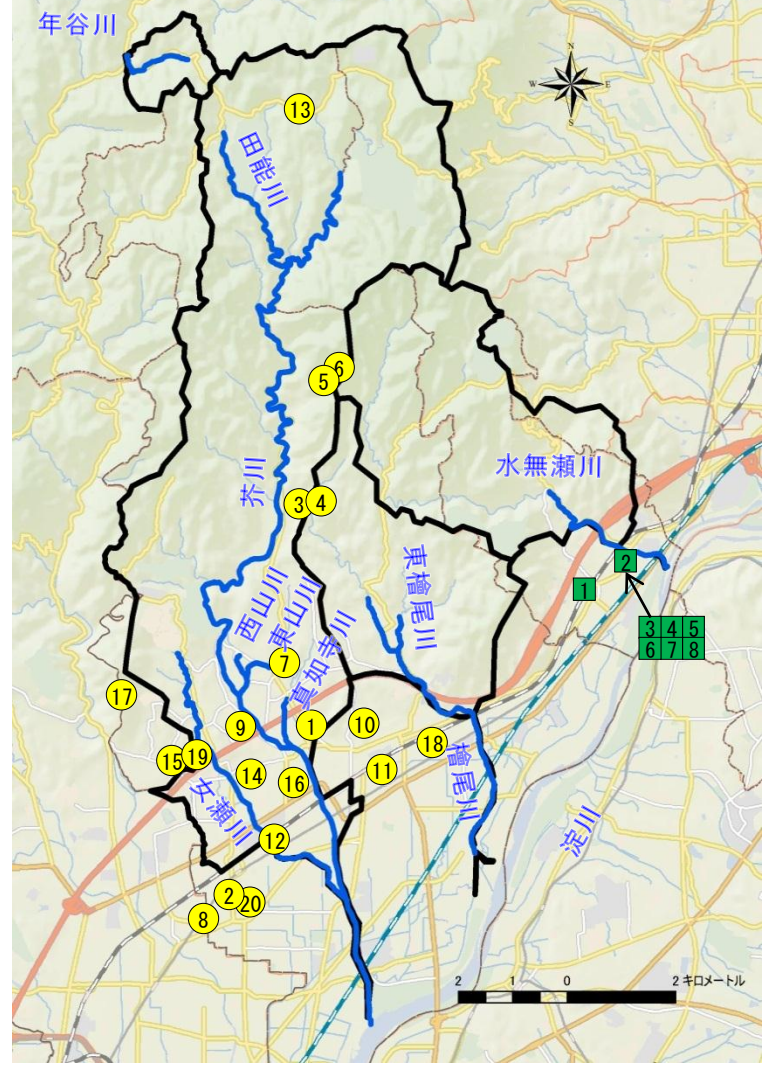
番号	機関	種類	種別/区分		名称	
1	国指定	有形文化財	国宝	考古資料	金銅 石川年足墓誌附木櫃残闕銅釘付一括	
2				建造物	普門寺 方丈附棟札	
3			重要文化財	彫刻	木造	聖観音立像 2躯
4					木造	阿弥陀如来坐像
5					木造	聖観音立像
6					木造	毘沙門天立像
7					木造	千手観音坐像
8					木造	菩薩坐像
9					考古資料	安満宮山古墳出土品 銅鏡5面、鉄製品9点、ガラス小玉一括附苧麻布片2点
10			旧法による重要美術品	美術工芸品	石造	灯籠
11		登録有形文化財	建造物	大阪医科大学看護専門学校校舎 (旧大阪高等医学専門学校別館)		
12				長谷川家住宅主屋		
13		記念物	史跡	古畑家住宅主屋 他7棟		
14				今城塚古墳附新池埴輪製作遺跡		
15				古墳・生産遺跡	新池埴輪製作遺跡	
16				官衙跡	嶋上郡衙跡附寺跡	
17				古墳	阿武山古墳	
18				集落跡	安満遺跡	
19				古墳	關鷄山古墳	
20				名勝	庭園	普門寺 庭園

資料:教育委員会教育指導部文化財課

島本町指定文化財一覧表

番号	機関	種類	種別/区分		名称
1	国指定	史跡	記念物	史跡	桜井駅跡
2				絵画	紙本著色 後鳥羽天皇像 伝 藤原信実 筆
3		重要文化財	美術工芸品	書跡等	後鳥羽天皇宸翰御手印置文
4					紙本墨書後村上天皇宸翰御願文
5					後鳥羽院御置文案
6					後鳥羽院宸翰御消息
7		建造物	建築物	水無瀬神宮 客殿	
8				水無瀬神宮 茶室	

資料:教育委員会事務局生涯学習課



文化財位置図

2. 淀川右岸ブロックの特性

● 水利用

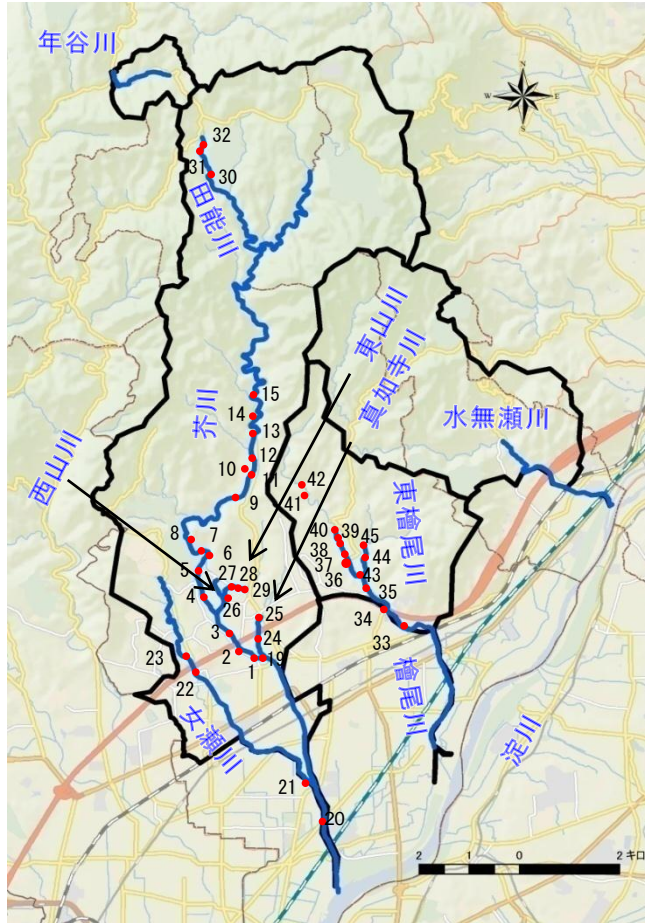
・河川水は堰等により取水され、農業用水として利用されている。

芥川水系 取水施設諸元

番号	河川名	施設名
1	芥川	水疎用水樋
2		下井出井堰
3		今井手井堰
4		川島井井堰
5		田刈井堰
6		服部一の湯井堰
7		広用水取水口
8		一の川原井堰
9		佐倉用水樋
10		大畠堰堤
11		川原井出井堰
12		下垣内頭首工
13		今井堰堤
14		西垣内堰堤
15		大井出頭首工
16		鬼ヶ谷堰堤
17		島崎用水
18		あまが瀬取水口
19		岩尾堰堤
20		建切用水樋
21		芝生大樋樋門
22	女瀬川	芝生用水樋
23		氷室川水門
24	真如寺川	中の池井堰
25		北畑取水口
26	東山川	キツネ塚取水口
27		東田刈用水取水口
28		宮之川原第3取水口
29		宮之川原第2取水口
30		宮之川原第1取水口
31	田能川	寿代1号取水口
32		スハノ下2号取水口
		スハノ下1号取水口

檜尾川水系 取水施設諸元

番号	河川名	施設名
33	檜尾川	檜尾川堰堤
34		安満用水取水口
35		佐保用水樋管
36		笠松樋管
37		西条樋管
38		琴堂用水樋管
39		麻野河原樋管
40		西谷用水樋
41		さいか堰堤
42		原熊ヶ谷用水 第1号取水口
43	東檜尾川	尾崎河原取水口
44		総数樋管
45		西北浦取水口



芥川水系・檜尾川 取水施設位置図

水無瀬川水系 取水施設諸元

河川名	No.	取水施設名称
水無瀬川	1	大井出取水堰
	2	半坂取水堰

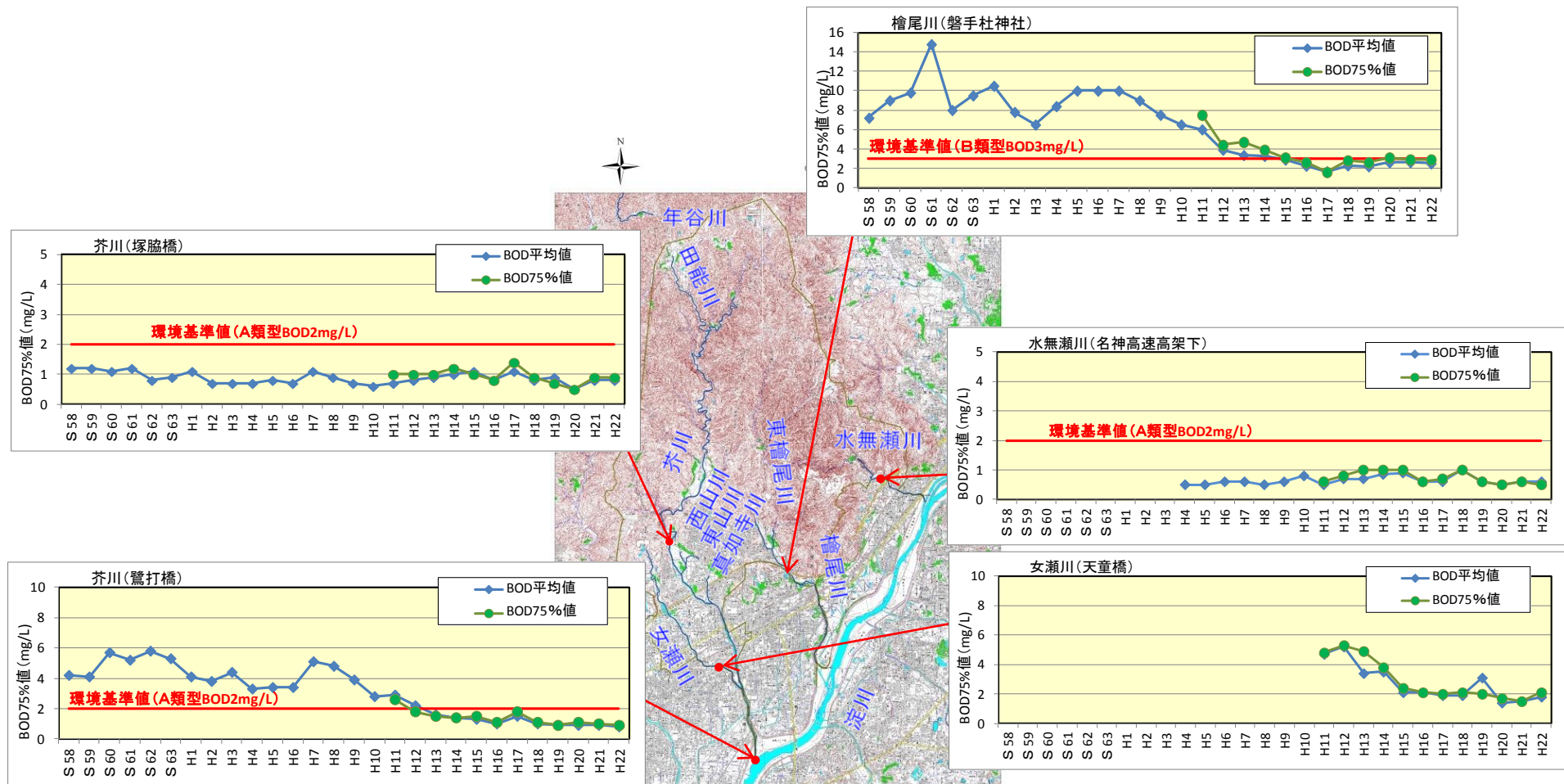


水無瀬川水系 取水施設位置図

2. 淀川右岸ブロックの特性

水環境(水質)

・芥川及び水無瀬川の環境基準はA類型、檜尾川はB類型に指定されており、環境基準点においては近年、基準値以下で推移している。

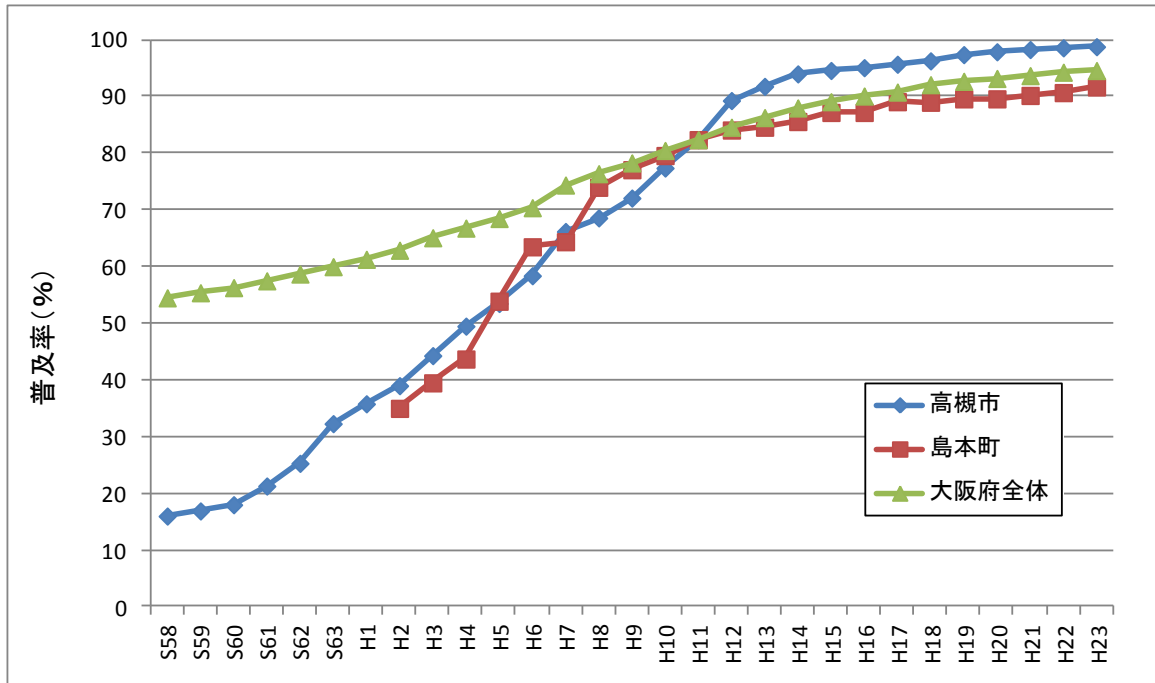


出典: 大阪府環境白書および大阪府ホームページ(平成11年以降)

2.淀川右岸ブロックの特性

水環境(下水道普及率)

・下水道の整備状況(平成23年度末)として、下水道普及率で見ると高槻市では98.8%、島本町では91.7%となっている。



2. 淀川右岸ブロックの特性

空間利用

芥川において、摂津峡公園、芥川緑地、桜堤公園、水無瀬川において東大寺公園が整備されており、河川周辺の空間利用が行われている。

河川空間利用

	No.	名称	利用内容
芥川	1	釣り堀	ます類等の釣り
	2	摂津峡	花見、水あそび、キャンプ、バーベキュー等
	3	芥川緑地	散策、ジョギング、テニス、バードウォッチング等
	4	桜堤公園	花見、こいのぼりフェスタ、散策等
	5	防災ステーション	防災活動
水無瀬川	6	釣り堀	ます類等の釣り
	7	東大寺公園	みなせ川ウォッチング、散策、テニス等



摂津峡公園



芥川緑地(あくあぴあ芥川)



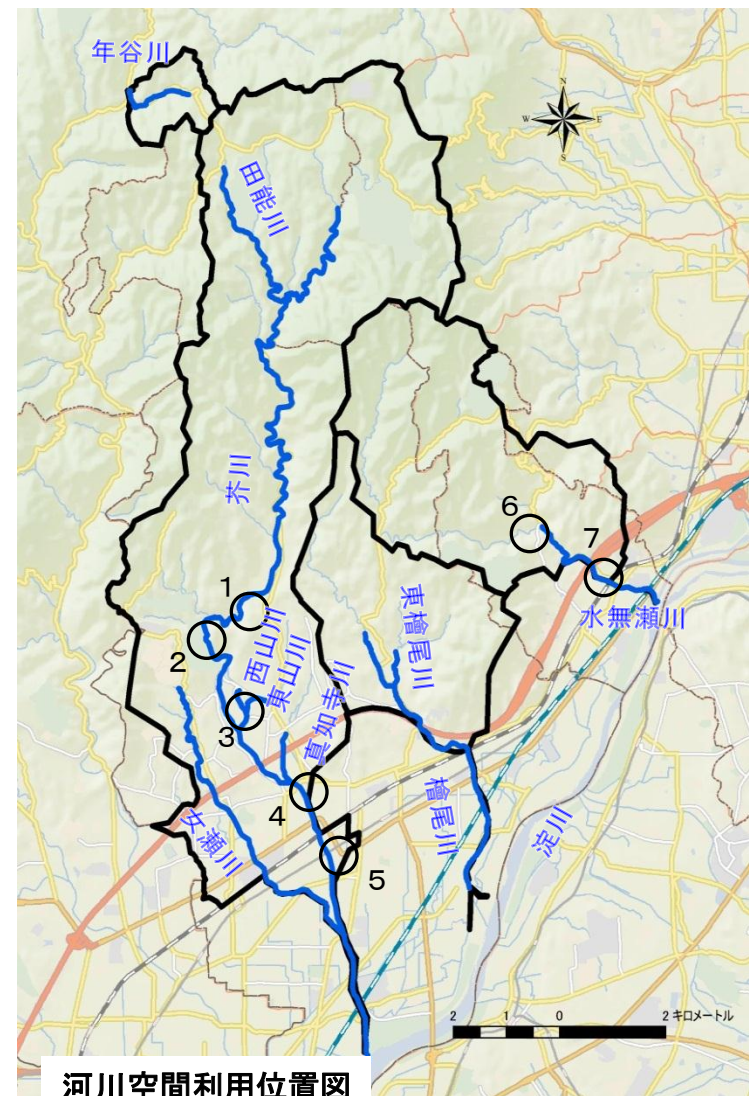
桜堤公園



防災ステーション



東大寺公園



河川空間利用位置図

2.淀川右岸ブロックの特性

●地域連携

NPO法人等と連携し、「魚みちの整備」、「ミズヒマワリの駆除活動」、「クリーンアップ大作戦」および「水辺の学校」などの活動が行われている。



仮設魚みちの整備状況



ミスヒマワリの駆除活動



クリーンアップ大作戦

3.治水事業の概要

●治水事業の沿革

- 昭和28年 9月の台風13号による被害（浸水家屋数6570戸、水稻冠水611ha）
- 昭和35年 芥川において昭和35年度全体計画を作成し改修に着手
- 昭和54年 檜尾川、水無瀬川において全体計画に基づく改修に着手
- 平成8年 芥川河川防災ステーションの整備に着手
- 平成16年 淀川水系淀川右岸ブロック河川整備計画策定

改修済区間

河川	年	改修内容
芥川	昭和62年まで	城西橋～西山川合流点において50mm/hr対応の河川改修を実施
	平成11年まで	西之川原橋～塚脇橋において50mm/hr対応の河川改修を実施
	平成5年～平成9年	阪急電鉄芥川橋梁の改築
	平成10年まで	城西橋～JR芥川橋梁下流において1/100確率規模(84mm/hr)の河川改修を実施
檜尾川	平成元年まで	磐手橋下流において50mm/hr対応の河川改修を実施
	平成9年まで	磐手橋上流において50mm/hr対応の河川改修を実施
	平成13年まで	名神高速まで1/100確率規模(84mm/hr)の河川改修を実施
水無瀬川	平成13年まで	50mm/hr対応の河川改修を実施

3.治水事業の概要

■過去の被害状況

- 昭和28年9月の台風13号により、浸水家屋6,570戸、水稻の冠水611haという大きな被害が発生した。
- 昭和42年7月の北摂豪雨では、床上浸水625戸、床下浸水6,559戸、農地浸水258haの被害が発生した。
- 近年では、平成24年8月14日の豪雨により、内水被害が発生し、1594戸が冠水した。



昭和28年9月26日被災写真①(檜尾川)



昭和28年9月26日被災写真②(檜尾川)

3.治水事業の概要

■過去の被害

過去の主な水害

年度	異常気象名	最大日雨量※)		最大時間雨量※) (mm)	河川名	浸水面積 (ha)	浸水家屋 (戸)	被害額 (千円)	備考
		発生日	最大日雨量 (mm)						
大正6年	台風	—	—	—	芥川	5,871	15,358	—	被害は淀川流域も含む
昭和9年		—	—	—	水無瀬川	—	—	—	水無瀬川堤防決壊
昭和25年	ジェーン台風	—	—	—	芥川	—	(半壊) 127	—	
昭和28年	台風13号	—	—	—	檜尾川	611	6,570	—	左岸が約200m決壊
昭和41年	7月豪雨	—	—	—	芥川、女瀬川、年谷川、檜尾川	—	—	9,182	水害統計
昭和41年	7月豪雨	—	—	—	高槻市全体	—	1,073	—	高槻市全体の被害
昭和42年	梅雨前線豪雨	—	—	—	芥川、女瀬川、真如寺川、西谷川、年谷川、檜尾川、東檜尾川	—	—	138,033	水害統計
昭和42年	梅雨前線豪雨	—	—	—	芥川、女瀬川	258	7,184	—	
昭和44年	梅雨前線豪雨	—	—	—	芥川、女瀬川、東檜尾川、水無瀬川	36	358	65,099	水害統計
昭和45年	梅雨前線豪雨及び台風第2号	—	—	—	東檜尾川	—	—	1,088	水害統計
昭和46年	台風23・25・26号及び秋雨前線豪雨	—	—	—	檜尾川、年谷川	—	—	12,515	水害統計
昭和47年	断続した豪雨並びに台風6、7号および台風9号	—	—	—	芥川、女瀬川、檜尾川、東檜尾川、水無瀬川	—	—	52,052	水害統計
昭和47年	豪雨及び台風20号	—	—	—	芥川、女瀬川、檜尾川、東檜尾川	—	—	11,427	水害統計
昭和58年	台風10号	9月28日	111	15	高槻市全体	—	304	—	高槻市全体の被害
昭和60年	雨及び台風6号	6月22日	83	26	芥川	—	—	1,130	水害統計
昭和61年	豪雨	7月21日	137	31	芥川、檜尾川	—	—	7,680	水害統計
昭和61年	豪雨	7月21日	137	31	芥川、檜尾川、東檜尾川	—	—	42,800	水害統計
平成元年	豪雨、台風17号	8月27日	95	31	芥川	—	—	15,079	水害統計
平成5年	梅雨、台風4,5,6,7号、落雷、風浪	6月23日	84	20	芥川	—	—	6,333	水害統計
平成5年	豪雨 9.29～9.30	9月30日	59	11	芥川	—	—	9,243	水害統計
平成24年	豪雨	8月14日	87	72	高槻市、島本町	—	1,594	—	内水被害（被害は高槻市、島本町分）

※) 雨量は、気象庁枚方観測所のデータ（平成24年は気象庁茨木観測所）

4. 既往の治水計画の概要

① 対象降雨量

・時間最大雨量(1/100) : 84.0mm/hr

「平成8年度版大阪府(三島地区)確率年別降雨強度式」より算出

② 対象降雨波形

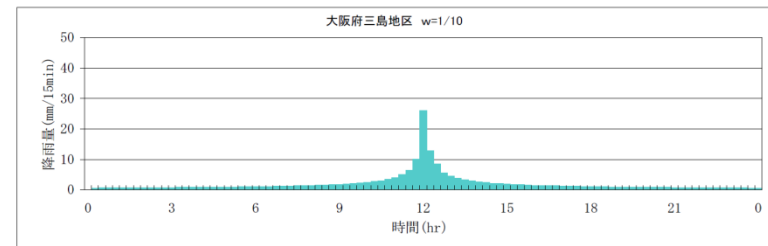
・中央集中型モデルハイエト

③ 流出解析手法

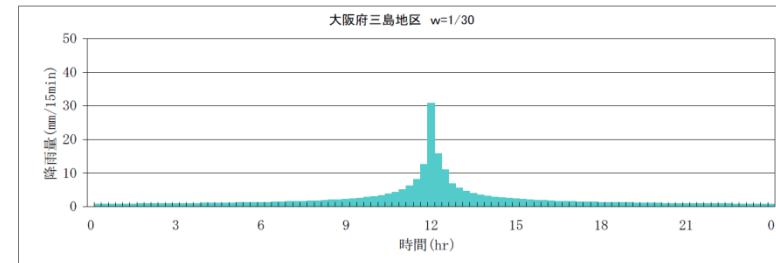
・合理式法

④ 流出係数

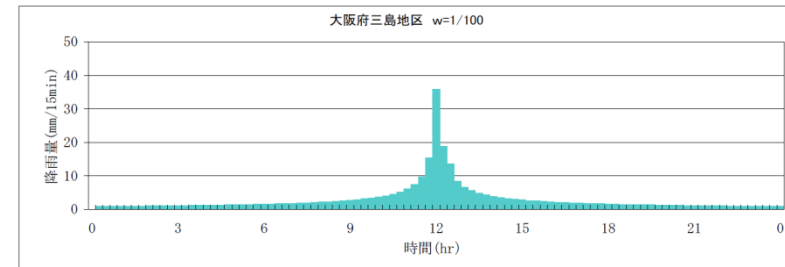
流域・河川名	流出係数
芥川	0.73
女瀬川	0.77
真如寺川	0.80
西山川	0.80
東山川	0.80
田能川	0.75
檜尾川	0.71
東檜尾川	0.70
水無瀬川	0.70
年谷川	0.70



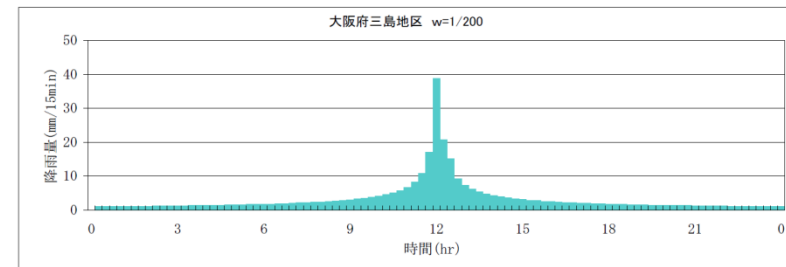
1/10年確率降雨(57.5mm/hr、193.4mm/24hr)



1/30年確率降雨(70.3mm/hr、239.9mm/24hr)



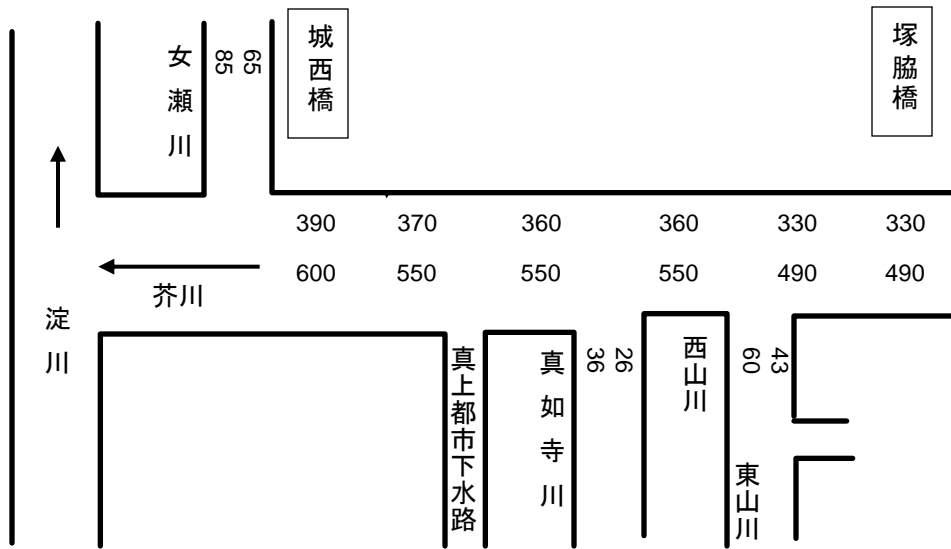
1/100年確率降雨(84.0mm/hr、289.8mm/24hr)



1/200年確率降雨(91.8mm/hr、318.3mm/24hr)

4. 既往の治水計画の概要

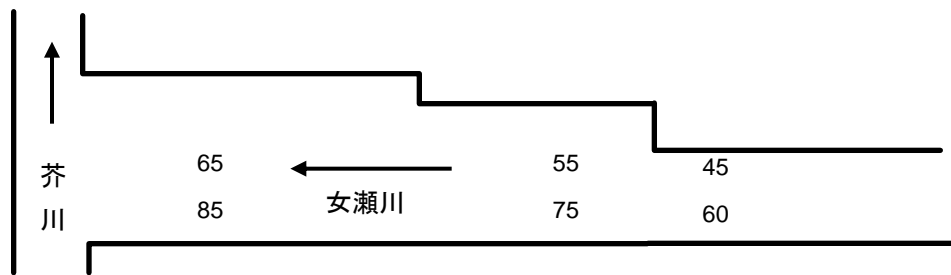
○芥川 流量配分図



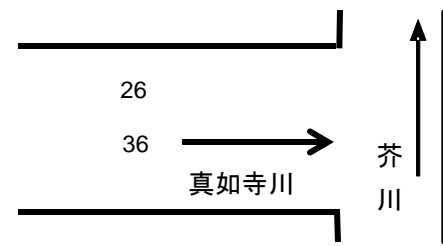
改修規模
 上段: $W=1/10$
 下段: $W=1/100$

単位: m^3/s

○女瀬川 流量配分図



○真如寺川 流量配分図

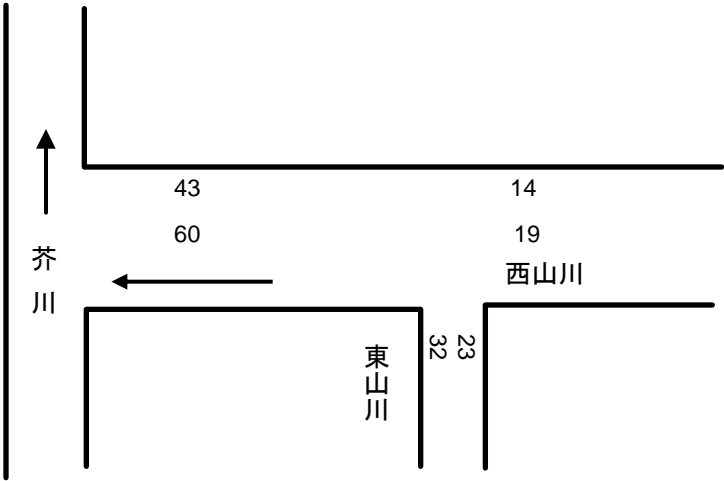


4. 既往の治水計画の概要

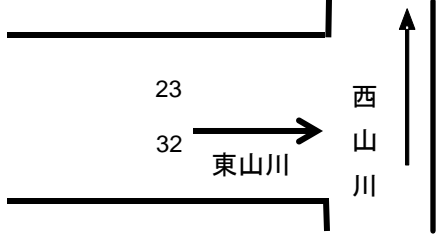
改修規模
 上段: $W=1/10$
 下段: $W=1/100$

単位: m^3/s

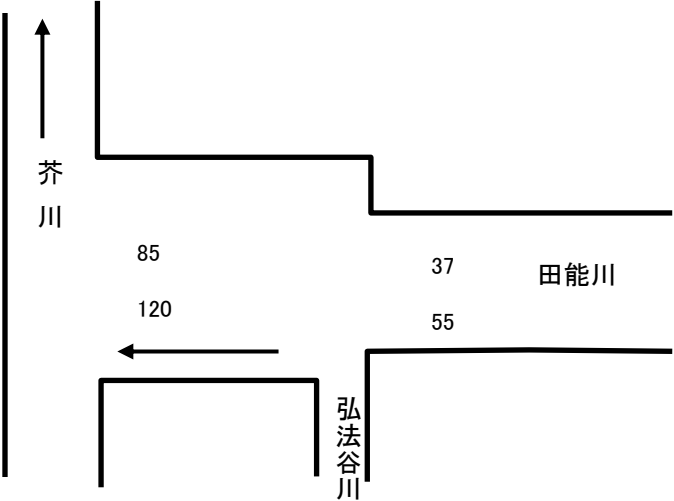
○西山川 流量配分図



○東山川 流量配分図

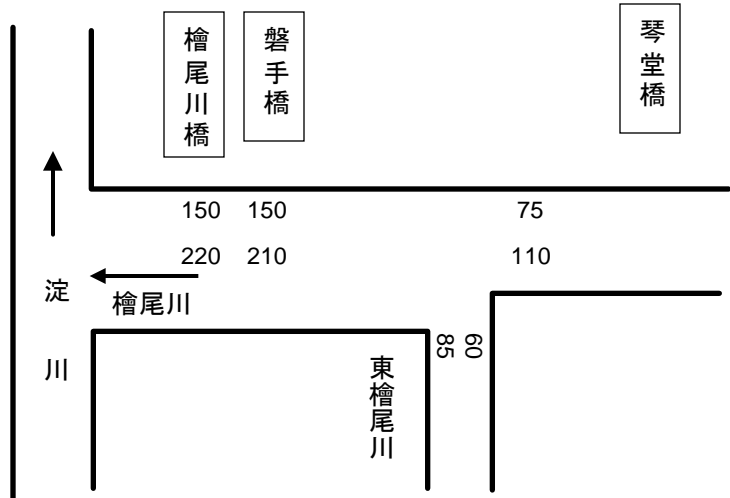


○田能川 流量配分図

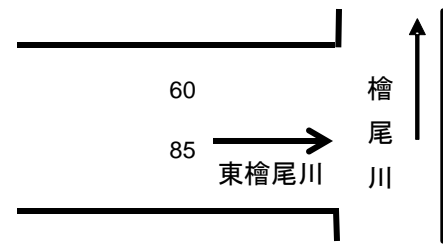


4. 既往の治水計画の概要

○ 檜尾川 流量配分図



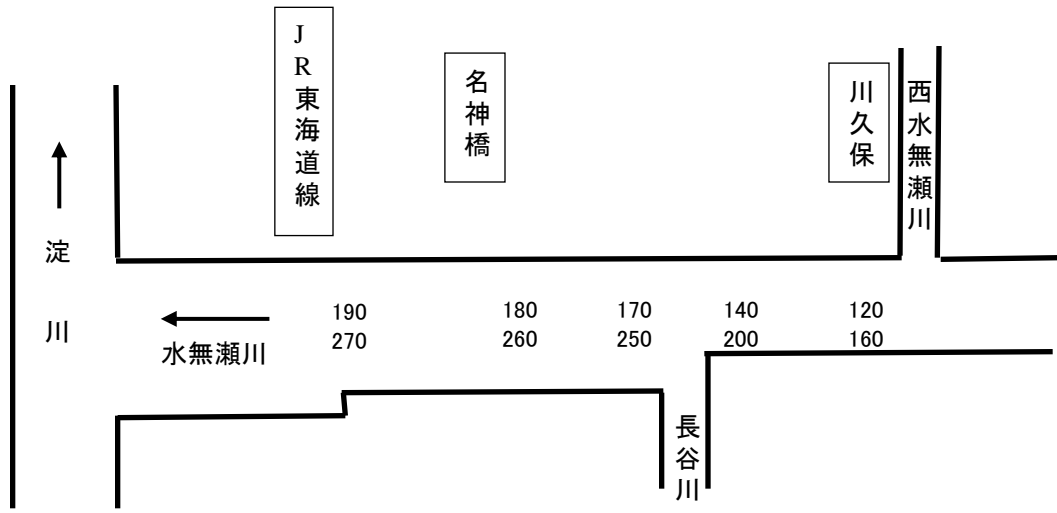
○ 東檜尾川 流量配分図



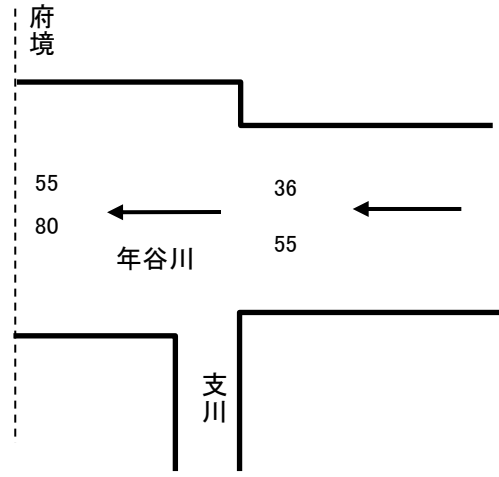
改修規模
上段: $W=1/10$
下段: $W=1/100$

単位: m^3/s

○ 水無瀬川 流量配分図



○ 年谷川 流量配分図



平成25年1月21日(月)に配布した資料に誤りがありましたので、
修正したものを掲載しております。

修正箇所	ページ数	修正前	修正後	
河床勾配の記述	P4	1/400～1/600程度	1/200～1/600程度	
	P5	1/80～1/400程度	1/80～1/200程度	
	P9	1/100程度	1/100～1/400程度	
	P12	1/35程度	1/130程度	
	P14	1/80～1/140程度	1/70程度	
	P16	1/40程度	1/70程度	
	P20	1/250～1/650程度	1/150～1/600程度	
	P21	一部琴堂橋付近で1/80程度となるが、概ね1/200～1/250程度	1/100～1/150程度	
	P23	1/20程度	1/70程度	
	P25	1/30程度、1/100～1/200程度	1/30～1/70程度、1/70～1/350程度	
	P27	1/50程度	1/40程度	
	縦断面図の河床勾配の記載	P7	1/400～1/600程度、1/80～1/400程度	1/200～1/600程度、1/80～1/200程度
		P11	1/100程度	1/100～1/400程度
		P13	1/35程度	1/130程度
P15		1/80～1/140程度	1/70程度	
P17		1/40程度	1/70程度	
P22		1/250～1/650程度、1/200～1/250程度	1/150～1/600程度、1/100～1/150程度	
P24		1/20程度	1/70程度	
P26		1/100～1/200程度、1/30～1/40程度	1/70～1/350程度、1/30～1/70程度、	
P28		1/50程度	1/40程度	
縦断面図の橋梁の旗上げの位置		P7	JR、阪急	阪急、JR
植生に関する記述	P30	上流域の山間部ではヤブムラサキ・コナラ群落、スギ・ヒノキ・サワラ植林、常緑広葉樹植林、およびコナラ群落、ヒメアオキ・ウラジロガシ群落が存在する。平地には水田雑草群落が点在する。	上流域の山間部ではアベマキ・コナラ群落、スギ・ヒノキ・サワラ植林が存在する。中・下流域の平地では水田雑草群落が点在する。	